

学生確保の見通しを記載した書類

(1) 収容定員を変更する組織の概要

① 収容定員を変更する組織の概要

収容定員を 変更する組織	入学定員	3年次 編入学定員	収容定員	所在地
高知大学 農林海洋科学部 農林資源科学科	140人 (135人) 5人増	2	564人 (544人) 20人増	高知県南国市物部乙200 (1年次：高知県高知市 曙町二丁目5番1号)

今回の農林海洋科学部農林資源科学科の入学定員増申請は、「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」に申請を行い、高知県と連携の下で審査に臨み、採択に至った高知県のニーズに合致した高知大学の取り組みである。【資料1：「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」採択に際しての高知大学・高知県合同での記者会見資料】

② 収容定員を変更する組織の特色

高知大学農林海洋科学部農林資源科学科は、令和5年に設置された学士（農学）を授与する学科であり、令和7年度の「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」において、「5人増」の採択を受け、収容定員を変更するために、申請を行う。

学部及び学科の「養成する人材像」等は以下のとおりである。

【農林海洋科学部の養成する人材像】

農学・海洋科学の諸分野から、持続的社会的創造を志し、一次産業のDXに資するデータサイエンスの知識や農林海洋資源の持続的開発・利用や環境保全等の諸課題に対応できる豊かな知識・素養と技能、実践力を併せもった人材を育成する。

【農林資源科学科の目的及び養成する人材像とその特色】

[学科の目的]

農林資源の持続的資源開発・利用や環境保全に不可欠な知識や手法を身に付けさせるとともに、施設園芸を中心とする農業が盛んで、周囲を森林と海に囲まれた高知県の特徴を最大限に活かし、農林業に関わるフィールド科学または農芸化学に関する専門知識を修得させることを目的とする。

[養成する人材像]

農林資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析し、データに基づく論理的考察により問題の本質を把握し、実際に行動し解決できる能力を有するとともに、農林業に関わるフィールド科学または農芸化学に関する専門的な知識、並びに農林業に関わるデータサイエンスやDXの知識を併せもった持続的資源開発・利用、

環境保全等の諸課題や6次産業化に対応できる実践力のある専門人材を育成する。

[教育課程の特色]

データサイエンス、一次産業 DX やスマート農業、経営・マーケティング、キャリア形成等をキーワードにコース横断型科目として、「DS・DX 科目」、「経営・マーケティング科目」、「キャリア形成科目」を開設する。これらにより、農林資源の持続的資源開発・利用や環境保全に不可欠な知識や手法を身に付けさせるとともに、高知県の農林業や自然環境の特徴を最大限に活かし、農林業に関わるフィールド科学、農芸化学に関する専門知識に関する専門的知識や6次産業化のための基盤的知識を修得させる。

養成する人材像に対応した学部及び学科のディプロマ・ポリシーは、以下のとおりである。

【農林海洋科学部 ディプロマ・ポリシー】

[知識・理解]

農林海洋科学に関する自己の専門分野及び一次産業の DX についての知識や技能を修得するとともに、データサイエンスの重要性を深く理解し、自己の分野と他分野を結びつけ、地域社会や国際社会が抱える食料・資源・環境問題や一次産業の発展に資する知識や技能を修得し、幅広い視点から地域・国際社会に貢献できる。

[思考・判断]

自己の知識により、データに基づく論理的考察により問題の本質を把握・分析し、課題の本質を正確に把握・分析し、自身の専門分野のみならず、関連する他分野とも連携し、それらの知識や技能を取り入れながら、好奇心を持って課題解決に取り組むことができる。

[技能・表現]

卒業論文研究の内容を的確な分析手法で解析し、明確に発表でき、他者の発表内容についても関心を持ち、積極的に議論に参加できる。

[関心・意欲・態度]

一次産業の DX やスマート化、食料問題や環境保全に高い関心を持ち、専門分野の知識を深く理解した上で、周辺分野と協働することで、課題解決に高い意欲をもって取り組むことができる。豊かな俯瞰力・企画力・探求力・分析力を持つ高度人材として、社会に対して負うべき責任を理解する健全な倫理観・自然観と幅広い視野を持ち、地域社会や国際社会における食料・資源・環境問題の解決や一次産業の発展に向けて行動することができる。

[統合・働きかけ]

農学・海洋科学に関わる技術者・研究者として、持続可能な生産に向けた提案をすることができる。農林海洋資源の持続的開発・利用や環境保全について、関係する人々と協力して改善していくことができる。

【農林資源科学科 ディプロマ・ポリシー】

[知識・理解]

農学に関する自己の専門分野及び一次産業の DX について最先端の知識や技能を修得するとともに、データサイエンスを深く理解し、自己の分野と他分野を関連づけ、地域社会や国際社会の先端的生物生産・利用、環境保全や地域産業の発展に資する知識や技能を修得し、幅広い視点から地域・国際社会に貢献できる。

[思考・判断]

自己の知識により、データに対する論理的考察により問題の本質を把握・分析・判断し、自身の専門分野のみならず、関連する他分野の知識や技能を有機的に取り入れながら、好奇心を持って課題解決に取り組むことができる。

[技能・表現]

卒業論文研究の内容をデータサイエンスなどの手法で解析し、科学的に明瞭に発表できるうえ、他者の発表内容についても関心を持ち、積極的に議論に参加できる。

[関心・意欲・態度]

農林業の DX や生物生産・利用のスマート化、食料・資源・環境問題の解決や地域産業の発展に高い関心を持ち、専門分野の知識を深く理解した上で、関連学問分野を活用することで、課題解決に高い意欲をもって取り組むことができる。豊かな俯瞰力・高い企画力・深い探求力・鋭い分析力を持つ高度な人材として、社会に対して負うべき責任を理解する健全な倫理観・自然観を持ち、地域社会や国際社会における農林業の DX や先端的生物生産・利用、環境保全の発展に向けて行動することができる。

[統合・働きかけ]

農業・林業及び農芸化学に関わる技術者・研究者として、持続可能な生産・6次産業化に向けた提案をすることができる。農業・林業の生産環境の整備とその利用並びに生物生産物の利用について、関係する人々と協力して改善していくことができる。

(2) 人材需要の社会的な動向等

① 収容定員を変更する組織で養成する人材の全国的、地域的、社会的動向の分析

平成 28 年の農学部から農林海洋科学部への改組以降、「地方創生」や「Society 5.0」、「SDGs」が矢継ぎ早に提唱されるとともに、近年ではデジタル・トランスフォーメーション (DX) などによるイノベーション力の強化が強く求められ、令和 5 年に再度学部改革を実施し、現在の農林海洋科学部 2 学科体制へと再編した。

この間、政府レベルでは、「第 6 期科学技術・イノベーション基本計画」を定め、「総合知を活用した未来社会像とエビデンスに基づく国家戦略の策定・推進」する領域として、AI、バイオテクノロジー等と並び「食料・農林水産業」も掲げられている。同戦略の具体化のため、「統合イノベーション戦略 2021」(令和 3 年 6 月 18 日閣議決定)において重点的に取り組むべき施策の一つとして「みどりの食料システム戦略」(令和 3 年 5 月農林水産省)を策定

し、イノベーション等による持続的生産体制の構築の施策として「スマート農林水産業の推進」等が掲げられ、現在も「統合イノベーション戦略 2024」において、計画が引き続き推進されてきており、当該政策に合致した人材の需要は大きいと考えられる。

また、本学が所在する高知県においては、「耕地面積 1ha あたりの園芸農業産出額」（農業生産性）で全国第 1 位となるなど、1 次産業が競争優位性を持った基幹産業となっており、「第 5 期産業振興計画」（令和 6 年 3 月策定）において、「IoP プロジェクトの推進」（地方大学・地域産業創生交付金事業「IoP（Internet of Plants）が導く Next 次世代型施設園芸農業への進化プロジェクト）」、「スマート林業の推進」、「高知マリンイノベーションの推進」など、「1 次産業 DX」を掲げる農林海洋科学部が養成する人材に合致した施策が展開されるなど人材需要は大きい。また、同計画では、「第一次産業の強みを生かした食品加工への展開、食品周辺の産業への波及」が弱い面も指摘されており、こちらへの課題解決に向けても、「6 次産業化」を基軸とした農林海洋科学部において養成するに人材への需要は大きい。

加えて、高知県では、持続可能な人口構造への転換等を目的として、「高知県元気な未来創造戦略」（令和 6 年 3 月策定）を新たに策定し、若年人口の増加に向けた各種施策をパッケージとして提示し、基本的方向「魅力のある仕事をつくる」、「新しい人の流れをつくる」の 2 つが示されている。「魅力のある仕事をつくる」の中で、IoP プロジェクトをはじめとする「1 次産業 DX」（施設園芸・林業・水産業等の DX）の推進が掲げられており、「新しい人の流れをつくる」の中では、「県内大学生の県内就職率」の向上に係る数値目標として、令和 4 年度実績 36.0%から、令和 9 年度目標 42%が掲げられている。このことから、本学農林海洋科学が構想している「1 次産業 DX」や「6 次産業化」のような地域の課題解決を推進できる人材の育成機能の強化と、当該人材の地域への定着という方向性は、高知県の最新の施策とも合致している。また、高知県では、大学卒業生の地域定着に向けて、令和 6 年度から「奨学金返還支援制度」を導入した他、高知県内の高等教育機関のプラットフォームである「高知學長会議」（高知県内の大学（国立 1 大学・公立 2 大学・私立 3 大学）、短期大学（私立 1 大学）・高知工業高等専門学校の長が参画）との連携の下で、「地方創生人材育成に向けた奨学金」など今後検討を進めていく予定である。

② 中長期的な18歳人口等入学対象人口の全国的、地域的動向の分析

本学が所在する高知県及び主たる進学者が想定される四国地域、中国・四国地域、近畿地域並びに全国の今後の18歳人口の推計は、下記のとおりである（出典：厚生労働省 人口動態調査 都道府県別「出生数」に18歳を加算して推計）。

【今後5年間】

	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	対2025
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
高知県	6,015	5,717	5,788	5,415	5,518	91.7%
四国	32,688	32,182	31,842	31,186	31,246	95.6%
中四国	98,186	97,811	96,569	94,958	95,648	97.4%
近畿	197,182	195,205	196,042	190,939	191,054	96.9%
全国	1,092,674	1,089,818	1,091,156	1,070,035	1,071,304	98.0%

【10年先までの推計】

	2030年度	2031年度	2032年度	2033年度	2034年度	対2025
	令和12年度	令和13年度	令和14年度	令和15年度	令和16年度	
高知県	5,244	5,266	5,266	5,015	5,052	84.0%
四国	30,798	30,301	29,687	28,661	28,503	87.2%
中四国	94,637	92,579	91,608	88,356	88,315	89.9%
近畿	188,255	185,513	182,674	177,124	177,707	90.1%
全国	1,050,806	1,037,231	1,029,816	1,003,539	1,005,677	92.0%

③ 収容定員を変更する組織の主な学生募集地域

高知県に所在する大学への進学の様子は「別紙1：新設組織が置かれる都道府県への入学状況」にあるように、高知県、岡山県、愛媛県、兵庫県、徳島県の順となっており、所在地である高知県に続き、近畿圏、中国圏、四国圏の県からの進学者が多くなっている。

今回収容定員を変更する農林海洋科学部においても、高知県からの入学生が最も多く、近畿圏、中国圏、四国圏と続く傾向は同様でありつつも、他大学や本学の他学部に比して、高知県及び四国圏からの進学者が少ない状況となっている。

	H31-R5 5 か年平均 (農林海洋科学部)	H31-R5 5 か年平均 (高知大学全学部)
高知県	10.7%	24.7%
四国 (高知県除く)	12.5%	17.3%
中国圏	16.5%	14.8%
近畿圏	26.7%	20.2%

このことから、農林海洋科学部では、今回の収容定員変更を機に、高知県及び中国・四国圏における積極的な学生募集活動を展開していく計画である。特に、高知県及び中国・四国圏においては、広島県を除き、大学進学率が全国平均(56.8%)よりも低く、今後の大学進学率上昇においては、「伸びしろ」がある地域であるといえる。

	卒業者数	大学等 進学者数	大学 進学者数	大学 進学率
鳥取県	4,590	2,389	2,036	44.4%
島根県	5,512	2,756	2,481	45.0%
岡山県	15,822	9,020	8,312	52.5%
広島県	21,634	13,982	13,294	61.4%
山口県	9,980	4,684	4,140	41.5%
徳島県	5,502	3,279	3,042	55.3%
香川県	7,988	4,661	4,230	53.0%
愛媛県	9,990	5,623	5,105	51.1%
高知県	5,412	3,031	2,730	50.4%
中国 計	57,538	32,831	30,263	52.6%
四国 計	28,892	16,594	15,107	52.3%
中四国 計	86,430	49,425	45,370	52.5%
全国	962,009	584,465	546,498	56.8%

(令和5年度 学校基本調査より作成)

④ 既設組織の定員充足の状況

既設組織の定員充足の状況は、「別紙2-1~12: 既設学科等の入学定員の充足状況(直近5年間)」の通りであり、いわゆる「隔年現象」による数値の上下はありつつも、全学部の全学科・課程において、過去5年間、充足している。

(3) 学生確保の見通し

① 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

ア 既設組織及び収容定員を変更する組織における取組とその目標

高知大学農林海洋科学部においては、学生確保に向けて、下記のような取り組みを行っている。

(i) オープンキャンパス・オンラインオープンキャンパス

オープンキャンパスについては、全学部共同により8月に開催しており、農林海洋科学部の実績は、次のとおりである。参加者の55%程度が受験対象者であり、その約半数が受験へとつながり、3～4割が入学している実績である。令和5年度入学生については、コロナ禍での実施だったことから、参加者は少ない状況であったが、アフターコロナとなった今後は、参加者増加に向けて入試広報を展開していく。参加者増加に向けた目標を、コロナ禍以前の「350人」（受験対象者190人）に設定すれば、実績ベースで、100人程度の受験、80人程度の入学につなげることが可能である。

	令和5年度 入学生	令和6年度 入学生
参加者等総数(a)	138人	268人
うち受験対象者数(b)	120人	146人
うち受験者数(c)	59人	82人
うち入学者数(d)	41人	59人
(受験率 c/b)	49.2%	56.2%
(入学率 d/b)	34.2%	40.4%

また、オンラインオープンキャンパスは、上記の対面型のオープンキャンパスに参加できなかった生徒を主な対象として、8月以降オンラインにて実施するものであり、オープンキャンパスの動画の配信の他、オンラインによる教員との意見交換等も可能となっており、下記のような実績となっている。こちらも、約半数が受験へとつながり、3割程度が入学している実績がある。対面型、オンライン型併用により、効果的な学生募集を実施していく。

	令和5年度 入学生	令和6年度 入学生
参加者等総数(a)	111人	53人
うち受験対象者数(b)	45人	34人
うち受験者数(c)	24人	16人
うち入学者数(d)	15人	11人
(受験率 c/b)	53.3%	47.1%
(入学率 d/b)	33.3%	32.4%

(ii) 出願等に係る説明会・相談会等

「大学入学共通テスト」の結果を受け、農林海洋科学部への志願を志向する生徒に対して、「出願直前説明会・相談会」を実施している。この説明会は、本学への志願を考えている段階において、相談会として実施することから、90%近くが受験につながっており、3～4割が入学している実績がある。志願段階にある生徒が対象となっていることから、このような取り組みを適時・適切にPRすることを通じて、参加者を増加させることにより、受験・入学へとつなげていく。

	令和5年度 入学生	令和6年度 入学生
参加者等総数(a)	28人	16人
うち受験対象者数(b)	24人	9人
うち受験者数(c)	21人	8人
うち入学者数(d)	9人	4人
(受験率 c/b)	87.5%	88.9%
(入学率 d/b)	37.5%	44.4%

また、「総合型選抜 説明会」についても、令和6年度入学生から実施しており、1年度分の実績しかないものの、下記の通り高い受験率・入学率となっている。「総合型選抜」は、今回の入学定員増申請を機に導入する「地域志向枠」を設けることで募集人員を拡充することから、一層の積極的なPRを通じて参加者を増加させることで、受験・入学へとつなげていく。参加者増加に向けた目標を「40人」に設定し、35人以上の受験につなげ、変更後の募集人員25人の入学者を獲得する。

	令和6年度 入学生
参加者等総数(a)	17人
うち受験対象者数(b)	14人
うち受験者数(c)	13人
うち入学者数(d)	11人
(受験率 c/b)	92.9%
(入学率 d/b)	78.6%

(iii) 高知県教育委員会等地域の行政・教育機関との連携による継続的な学生募集

今回の「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立の定員増」への採択などの地域が求める人材輩出や、高知県における学校教員の確保及び高大接続等の充実等に向けて、令和6年6月17日に高知大学執行部（学長・理事）と高知県教育長等の高知県教育委員会幹部との間で協議を行い、定期的な意見交換の場の設置が決定した。今後、年複数回の意見交換等を通じて、「大学 → 生徒」への直接的な入試広報のみならず、「大学 ⇄ 行政・教育機関」による組織対組織の連携を通じて、学校・教員に対しても、大学の PR を継続的に実施することが可能となる。

(iv) 学長・学部長等のトップセールスによる学生募集

上記のオープンキャンパスや進学説明会、高等学校生の大学への訪問、高等学校への訪問等での学長・学部長等によるトップセールスを積極的、かつ、戦略的に、下記のような方針の下で、展開する。

【高知県内高等学校対象】

高知県の大学進学率は、県内に医療系の私立大学が3大学開校したこともあり、平成30年度の39.6%から、令和5年度には50.4%へと上昇しているものの、全国平均の56.8%には届いていないため、今後一定の伸びしろがある。一方で、「高知で農学を学ぶ」ことについて、高知県内の高校生にとっては、高知県が誇る自然環境や施設園芸の優位性、大学での学びと地域産業との緊密性などの魅力が、「無自覚」であることから、その魅力を大学側でダイナミックにPRしていく戦略が最重要かつ喫緊の課題である。加えて、1次産業の現場におけるロールモデルの少なさなども、その原因と考えられることから、「1次産業の高度化に係る最新の知見」を現場へ普及していくPR活動等も展開する。

実際に、IoPプロジェクト開始後の農業高等学校等との連携強化（平成30年～）や、一次産業の担い手育成に係る「農業教育高度化事業推進会議」を通じた連携強化（令和3年～）以降、農業高等学校からの入学生は、3～5人で

推移してきている。後述する「進学に係るアンケート」の結果における農業高等学校（3校）からの回答では、「国立大学への進学意向がある」、「受験意向がある」の項目に肯定的な回答をした者は22人、さらに「入学意向がある」まで肯定的な回答をした者は18人となっており、連携強化後の効果は顕著に表れてきている。

農業高等学校との実績を踏まえ、高知県内の普通科の高等学校との密な連携強化も併せて行うことで、これまで進学実績の少なかった高等学校からも1校当たり1～3人程度、高知県全体からは15人程度の増を見込む。

【四国内の高等学校】

四国内の高等学校の生徒の進学志向は、経済的な結びつきの強い関西・中国圏へと向けられている。また、関西圏では、農学系学部の新設が近年続いていることも影響している。例えば、徳島県から農学系への進学を志向する学生は、近畿圏に流出しているのが、高等学校の「進路情報」等でわかる。徳島県西部の進学実績の高い高等学校（高知大学全体で令和6年度15人の進学実績）の令和6年度進路情報では、四国内（徳島県以外）の農学系学部への進学2人に対して、近畿圏の農学系学部への進学5人と、近畿圏と競合し、受験者の流出に繋がっていることが確認できる。

このような四国内の高等学校に対しては、都市部で農学を学ぶことに比しての高知（四国）の学習環境の優位性、自然環境や1次産業現場へのアクセス（産業の強みだけでなく、その課題の喫緊性なども含む。）や、「インターシップ」などの実践的教育機会の近さ・豊かさなどを前面に出してPRしながら、その強みを生かした実践的な体験授業などを広く展開する広報を実施する。

【関東・東海・近畿・中国】

関東・東海・近畿・中国からの進学者については、特定の高校からの進学者よりも、少人数の入学者が複数の高等学校から進学してくる「累積」である。そのため、個別の高等学校の生徒へのPRに加えて、高等学校教員へのアプローチの拡充が重要になる。

特に、高知大学農林海洋科学部では、学校教員（高等学校（理科）・高等学校（農業）・高等学校（水産））等の教育職員免許状も取得できる教育課程を農学部時代から開設しており、高等学校の教員となっている卒業生が、高知県及び四国以外にも、東海圏・近畿圏・中国圏などに数多くいる。そのような高校教員に対して、農学部／農林海洋科学部の同窓会組織や、令和5年度に設立した高知大学校友会のネットワークを最大限生かしながら、教育現場に対するPRを強化する。

② 競合校の状況分析（立地条件，養成人材，教育内容と方法の類似性と定員充足状況）

ア 競合校の選定理由と新設組織との比較分析，優位性

農林海洋科学部農林資源科学科と競合する学部・学科は、高知県内及び四国内の公私立大学には存在せず、競合校となるのは、四国内の国立大学の農学系学部である。選定の理由は、下記の通り、農学系学科の規模が近似していること、学生納付金が同額であること、また、香川大学及び愛媛大学とは連合農学研究科（博士課程）を連合大学院として設置するなど、歴史的にも結びつきが強いことなどが理由である。

大学名	学部名	学科名	入学定員	
徳島大学	生物資源産業学部	生物資源産業学科	100	
香川大学	農学部	応用生物科学科	150	
愛媛大学	農学部	食料生産学科	70	170
		生命機能学科	45	
		生物環境学科	55	
高知大学	農林海洋科学部	農林資源科学科	140	205
		海洋資源科学科	65	

一方で、今回入学定員を増員して機能強化を図る「施設園芸等の農業分野の振興に向けた人材育成」においては、「耕地面積 1ha あたりの園芸農業産出額」（農業生産性）で全国第1位との強みや、「第一次産業の強みを生かした食品加工への展開、食品周辺の産業への波及」などの課題を有する高知県をフィールドとして、学問と現場を往還した学びを展開できる点では、他県の大学にはない本学農林海洋科学部が有する優位性である。また、入学定員増の申請内容は、「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」において、高知県及び高知大学が連携の下で取り組む内容となっている。入学定員増をベースとして設ける「地域志向枠」の履修体系に内包されている「インターンシップ」の実施や「キャリア教育」の展開に当たっては、高知県の公設試験研究機関や、JA 高知県、農業法人等の全面的なバックアップを受けることが可能となっている。

イ 競合校の入学志願動向等

令和5年度の本学農林海洋科学部再編以降の、上記競合校及び本学の入学志願動向の全体数は、下記のとおりであり、いわゆる「隔年現象」による数値の上下はありつつも、全大学の学部・学科において、充足している。

大学名	学部名	学科名	年度	定員	志願者	受験者	合格者	入学者	志願倍率	受験倍率
徳島大学	生物資源産業学部	生物資源産業学科	R5	100	393	217	119	106	3.93	2.17
			R6	100	349	173	115	106	3.49	1.73
香川大学	農学部	応用生物科学科	R5	150	477	447	173	156	3.18	2.98
			R6	150	431	400	171	155	2.87	2.67
愛媛大学	農学部	食料生産学科	R5	70	211	145	80	73	3.01	2.07
			R6	70	160	118	80	76	2.29	1.69
		生命機能学科	R5	45	210	137	49	49	4.67	3.04
			R6	45	171	115	50	49	3.80	2.56
		生物環境学科	R5	55	125	103	60	60	2.27	1.87
			R6	55	114	88	62	60	2.07	1.60
高知大学	農林海洋科学部	農林資源科学科	R5	135	412	260	156	141	3.05	1.93
			R6	135	324	198	149	139	2.40	1.47
		海洋資源科学科	R5	65	208	135	72	67	3.20	2.08
			R6	65	188	121	70	66	2.89	1.86

※ 各大学から公表されている入学者選抜実施状況により作成

※ 香川大学農学部応用生物科学科では、一般選抜（後期日程）で個別学力検査を課していないため、「志願者=受験者」（欠席者なし。）として取り扱っている。

今回の「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」の採択結果に基づいて設ける「地域志向枠」を契機として、募集人員の見直しも併せて行うことにより、入学定員増による機能強化に併せて入学者選抜の改革も実施することとしたい。

具体的には、農林資源科学科の一般選抜（前期日程）の募集人員を「80人 → 70人」へと10人減じ、「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」による5人と合わせて15人枠の「地域志向枠」を設け、総合型選抜 既設15人+10人、学校推薦型選抜 既設20人+5人として入学者選抜を実施する。このことにより、地域活性化などを志向する意欲ある学生を全国から集め、地域定着に向け実績（地域定着率：30～40%）のある「地方創生推進士」の履修体系で教育を展開することにより、人材輩出を通じて地方創生を図っていく。

令和6年度の志願状況をベースとして、上記の募集人員の変更を行った場合、想定される志願倍率等は以下のとおりであり、変更後の学校推薦型選抜及び総合型選抜においても、志願者獲得と、効果的な入学者選抜の両立は可能となっている。また、(3)①ア(ii)で示した「総合型選抜 説明会」での数値目標設定等を通じて、さらなる志願者獲得につなげることで、各選抜で農林海洋科学部農林資源科学科の教育課程にマッチした学生の獲得が可能となる。

【令和6年度選抜ごとの実績】

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	受験倍率
学校推薦型選抜	20	37	37	21	21	1.85	1.85
総合型選抜	15	38	38	17	17	2.53	2.53

【同様の志願者数・受験者数だった場合の倍率の変動】

	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数	志願倍率	受験倍率
学校推薦型選抜	25	37	37	－	－	1.48	1.48
総合型選抜	25	38	38	－	－	1.52	1.52

ウ 学生納付金等の金額設定の理由

本学の納付金は、817,800円（授業料年額535,800円、入学料282,000円）で「国立大学等の授業料その他費用に関する省令」第2条に定める標準額と同額、かつ近隣の国立大学法人（競合校）と同額である。

③ 学生確保に関するアンケート調査

ア 高等学校の生徒を対象としたアンケート調査

今回の入学定員増の申請に当たり、「進学に係るアンケート」を令和6年6月に実施したところである。

対象としては、普通科の高等学校15校、実業高等学校4校（うち農業高等学校3校、商業高等学校1校）であり、2,305人に対して実施した。対象校は、令和5年度の学部再編に向けて、令和4年1～2月に実施した「アンケート調査」の実施校45校（高知県、徳島県、香川県、岡山県の高等学校が中心（愛媛県については、新型コロナ第6波到来による休校が増えていた時期だったため依頼を断念））から抽出した。

アンケート調査において、「国立大学への進学意向がある」、「受験意向がある」の項目に肯定的な回答をした者は273人、さらに「入学意向がある」まで肯定的な回答をした者は152人である。【資料2：高校生アンケート調査票及び提示資料】

	回答者数	受験意向	対回答者数比	うち入学意向	対回答者数比
今回調査	2,305	273	11.8%	152	6.6%
令和4年調査	5,089	535	10.5%	258	5.1%

今回の「アンケート調査」結果と、令和5年度の学部再編に向けて、令和4年1～2月に実施した「アンケート調査」を比較した場合、受験意向者率・入学意向者率ともに、ほぼ同様の結果あるいは今回の方が前回に比較して高い結果が出ていることから、十分な志願者獲得につながれると考えている。

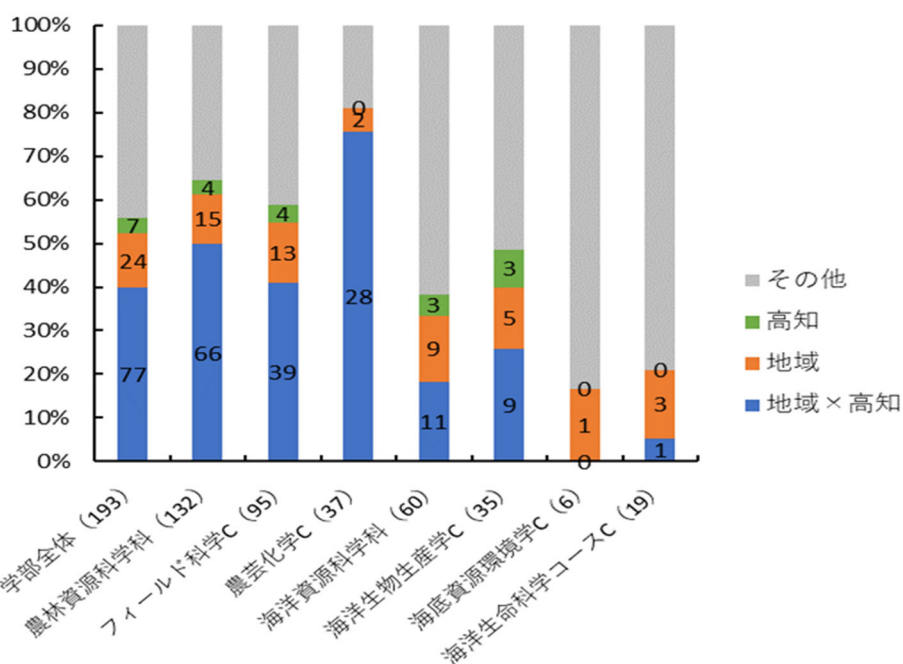
また、「地域志向枠」に限った「受験意向」については135人、うち「入学意向」まで肯定的な回答をした者は60人となっており、「地域志向枠」についても充足できると考えられる。

イ 在学生に対する「地域志向」に係る調査

農林海洋科学部では、1年生向けに共通教育科目の「大学基礎論」（第1学期開講、2単位、必修）を行っている。令和6年4月26日の講義において学部長から「大学で学ぶとは」、「高知大学とは」、「高知にある資源」に関する講話を、学務委員長から「地方大学とは」、「高知

大学に求められている役割]、「地方創生とは」、「高知大学で何を学ぶのか」に関する講話を実施した。同授業の課題として、レポートを提出させ、その内容から、「地域」、「高知」への強い関心・志向を持っているかの観点で分析したところ、下記のような結果が得られた（図中の数字は出席者数）。

【令和6年度入学生の「地域」または「高知」への関心度調査結果】



農林海洋科学部に入学としてくる学生のうち、全体では55%程度の学生が「地域」、「高知」への強い関心・志向を有しており、今回、入学定員増を申請する農林資源科学科においては、海洋資源科学科に比して、よりその傾向が強く65%程度となる。

農林資源科学科に実際に入学した学生の「地域」、「高知」への関心・志向の度合いから見た場合でも、今回入学定員を増員し、新たに設ける「地域志向枠」へのニーズは高いと考えられる。

④ 人材需要に関するアンケート調査等

ア 高知県内の農業人材ニーズについて

高知県においては、下記の地域連携プラットフォームが存在し、高知県における高度な農業人材の育成について議論されている。高知県、県内農業高等学校、県教育委員会、県内農業研修教育施設と本学が参加している「高知県農業教育高度化事業推進会議」では、高知県内での新規就農育成・確保の充実を目指し、育成すべき農業人材像を設定して、各機関が連携して育成に取り組むこととしている。農林資源科学科での「一次産業DX教育」及びデータサイエンス教育の実施を通じて、高度な農業関連人材を育成し、卒業生が、高知県や県内農業協同組合での農業指導への従事や、農業関連企業への就職や起業すること等が期待され

ている。また、高知県、JA 高知県、高知県工業会、県内金融機関、高知県立大学、高知工科大学、本学が参加している「高知県 Next 次世代型施設園芸農業に関する産学官連携協議会」では、「AI 等を活用した施設園芸の DX を推進・実践できる人材」や「農業経営等と 1 次産業から他産業へと波及することができる人材」の育成が期待されている。これらの地域連携プラットフォームに参加する中で、高知県の農業人材のニーズを確認し、農林資源科学科の育成する人材像にも反映させている。

農林資源科学科のカリキュラムの中では、これらの農業人材育成のニーズに沿って、「次世代農業プログラム」を開設している。加えて、今回の入学定員増を機に、「地方創生推進士（農学）」の履修体系の下で、「他産業への波及」などの地域の課題を学問と現場の両方で学び課題解決につなげられる人材を育成するための履修体系も新たに構築し、「地域志向枠」での入学生 15 人には、「地方創生推進士（農学）」の履修を義務付ける。プログラムの中では、「実践力育成」、「農業及びその関連産業への就職意欲向上」、「6 次産業化への取り組み」などを目的にインターンシップ科目を置くなど、地元定着を狙ったキャリア教育も含んでいる。このインターンシップにおいては、高知県・県内農業協同組合・農園等の協力を得て、学科の入学定員 140 人全員が履修を希望した場合でも、収容可能な「実習先」を準備いただくなど、農林資源科学科の人材育成について協働体制を敷いている。また、IoP が導く Next 次世代型施設園芸農業への進化プロジェクト（IoP プロジェクト）参画企業 76 社からも、IoP プロジェクト推進に係る地域連携プラットフォームである「高知県 Next 次世代型施設園芸農業に関する産学官連携協議会」を通じて人材育成に期待を寄せてもらっている。

また、就職先についても、想定される就職先の採用予定数を見ると、高知県の令和 2 年度～令和 5 年度職員等採用上級試験において、農業職は 13～15 名、林業職は 7～9 名で推移している。また、農業協同組合においても、JA 高知中央会の採用数（中途採用を除く。）は、令和 4 年度 18 名、令和 5 年度 17 名、令和 6 年度 16 名で、令和 7 年度の採用予定数は 15 名となっている。その他に IoP プロジェクトに参画している県内企業も 18 社あり、人材ニーズがあると考えられる。

イ 企業等に対する調査結果

令和 5 年度の農林海洋科学部再編による学部・学科は、学年進行中であることから、現時点で卒業生の就職等の実績は存在しない。そのため、今回の入学定員増申請に当たって、令和 6 年 6 月に企業等に対して、人材需要に係るアンケート調査を実施した。

（i） 調査の概要

調査対象は、これまでの農林海洋科学部（旧学部）において就職実績のある企業、IoP 関連企業 76 社、農林海洋科学部教員と共同研究等で連携実績のある企業等合計 250 社である。調査の主たる目的は、調査対象の企業や機関・団体が、採用する人材として農林海洋科学部農林資源科学科の卒業生に魅力を感じるか、また実際に採用する人材として検討するか等を確認した。【資料 3：企業アンケート調査表及び提示資料】

(ii) 回収率

250 社中、158 社から回答があった。回収率は 63.2%である。回収率が高値なのは、高知県内の企業には可能な限り代表者に直接依頼したこと、就職実績のある企業に対しては就職した卒業生を介して依頼したこと、IoP 関連企業に対してはプロジェクト推進母体を通じて依頼したこと等が要因である。

回答のあった企業を本社所在地別に見ると、高知県 28.5%、高知県以外の四国が 10.1%、関東以北 29.7%（うち、東京都 19.6%）、中部地方 6.3%、近畿地方 14.6%、中国地方 5.7%、九州・沖縄地方 5.1%である。また、業種別では、製造業が 33.5%、次いで農・林・漁・鉱業 14.6%、卸売・小売業 13.3%、サービス業 7.6%であった。回答企業の規模の分布は、50 名未満 22.8%、50～100 名未満が 13.3%、100～500 名 22.8%、500 名～1,000 名未満 10.8%、1,000 名以上 30.4%であった。

(iii) 調査の結果

本調査の結果、回答企業 158 社のうちで、農林資源科学科の卒業生を「採用したい」と回答した企業数及び「採用想定人数」（採用したいと回答した企業に対して「何名採用したい」と質問し、その回答された人数を合計したもの）は次のとおりである。

学科名 (入学定員)	全回答企業数	採用意向有	採用想定人数
農林資源科学科 (140)	158 社	144 社 (91.1%)	231 人

この調査結果から、農林海洋科学部農林資源科学科の入学定員を大幅に上回る採用意向があることが明らかとなっている。

また、併せて、農林海洋科学部農林資源科学科の特色に関する問いに対する肯定的な回答は、以下のとおりであり、本学科の特色について、多くの企業が魅力を感じている。

	回答社数	比率
フィールド科学と農芸化学を統合した分野横断型の学びによって、幅広い知識と技術を修得できる。	148	93.7%
農林資源科学の高い専門性に加え、データサイエンスや一次産業 DX の知識や技能を修得できる。	152	96.2%
地域が抱えている課題を理解し、上記の知識と技能で課題解決の方策を考えることができる。	149	94.3%
農林海洋科学部農林資源科学科で「地方創生推進士」の知識と技能を備えた人材は、貴社・貴団体における採用とする人材として期待しますか。	133	84.2%
高知大学「農林海洋科学部農林資源科学科」は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。	155	98.1%

**令和7年度 農林海洋科学部農林資源科学科
定員増の決定ならびに記者会見について（御案内）**

平素は、本学の教育・研究にご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、本学が申請しておりました文部科学省「令和7年度 魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の定員増」の選定において、高知大学農林海洋科学部農林資源科学科の入学定員5名増員が決定しましたのでお知らせいたします。

つきましては、定員増の概要などにつきまして、下記のとおり記者会見を行いますので、取材方よろしくお願ひ申し上げます。

なお、ご出席いただけます場合は、事前に下記担当までご連絡くださいますようお願いいたします。

記

〔記者会見〕

日時：令和6年6月20日（木） 11：00～

場所：高知大学朝倉キャンパス 地域協働学部棟会議室1

出席者：学長	受田 浩之
農林海洋科学部長	枝重 圭祐
高知県農業振興部長	松村 晃充

問い合わせ先

高知大学法人企画課

TEL：088-844-8758

FAX：088-844-8887

記者会見当日の写真



説明する受田高知大学長



説明する松村高知県農業振興部長

調査票

高知大学 農林海洋科学部 農林資源科学科の新しい入試制度 『地域志向枠』（仮称、構想中）に関するアンケート

高知大学 農林海洋科学部では2023年度（令和5年度）に改組を行い、データサイエンス（DS）やデジタルトランスフォーメーション（DX）の時代に対応した教育研究の体制を整えました。次いで、農林資源科学科では、地方創生へ貢献できる人材を育成することを目的に、2025年度（令和7年度）入試から、高知大学地方創生推進士（農学）の認定を目指す『地域志向枠』（仮称）を設け、受験生の募集を開始することを構想しています。定員は15名とし、総合型選抜Ⅰ、Ⅱ、学校推薦型選抜Ⅰに割り振る予定です。

このアンケートは、高校3年生の皆さんに進路選択に対する考え方や大学で学びたいことなどのご意見をお伺いし、農林海洋科学部の教育や研究を発展させ、より充実したものにするための参考資料とさせていただくものです。現時点での学力や進路希望先等は気にせず回答してください。

このアンケートで得られた情報や回答内容は、上記の目的のための統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。つきましては、アンケートへのご協力をよろしくお願いいたします。

◆ 最初にあなた自身についてお聞きします。

高校名	[]	高等学校
所属クラス (いずれかに○)	文系クラス (文系コース)	理系クラス (理系コース)	コース選択はない その他

◆ 高校卒業後の進路希望についてお聞きします。

Q1	あなたは、卒業後の進路について現時点でどのように考えていますか。 以下の項目から、可能性のある項目すべてに○をつけてください。(いくつでも)		
	国立大学に進学	短期大学に進学	就職
	公立大学に進学	専門学校・専修学校に進学	その他
	私立大学に進学	専門職大学・専門職短期大学に進学	

◆ ここからは、地域社会や地方創生への関心についてお聞きします。

Q2	あなたは、持続可能な地域社会づくりや地方創生のための活動に関心がありますか。 いずれかに○をつけてください。			
	とても関心がある	関心がある	あまり関心がない	全く関心がない

Q3	あなたは、持続可能な地域社会づくりや地方創生のための活動に参加してみたいですか。 いずれかに○をつけてください。			
	とても参加したい	参加したい	あまり参加したくない	全く参加したくない

調査票

◆ ここからは、高知大学 農林海洋科学部 農林資源科学科についてお聞きします。

Q4		高知大学 農林海洋科学部 農林資源科学科には次のような特色があります。 それぞれの特色について、あなたはどの程度魅力を感じますか。いずれかに○をつけてください。			
		とても 魅力を 感じる	ある程度 魅力を 感じる	あまり 魅力を 感じない	全く 魅力を 感じない
農林海洋科学部	A. 農学・海洋科学分野の広く・深い実学的学びに加え、これからの社会に求められるDSやDXの知識と技能を兼ね備えた「未来型農学・海洋科学人材」の育成を目指す。				
	B. 地域課題の解決に向けて、デジタルの力を活用した最先端技術を開発・普及するための知識や技能を修得できる。				
農林資源科学科	C. フィールド科学と農芸化学を統合した分野横断型の学びによって幅広い知識と技術を統合できる。				
	D. 農林資源科学の高い専門性に加え、データサイエンスや一次産業 DX に関する知識や技術を修得できる。				

Q5	あなたは、高知大学 農林海洋科学部 農林資源科学科を受験してみたいと思いますか。 いずれかに○をつけてください。	
	受験したいと思う	受験したくないと思う

Q6	農林資源科学科の新しい入試制度「地域志向枠」（仮称、構想中）の合格者は、2025年度（令和7年度）に新規に開設する高知大学地方創生推進士（農学）の教育プログラムを受講します。 ▶ このプログラムでは、「農企業マーケティング論」や「地域農業最適化論」、「資源有機化学」などの科目により六次産業化を深く理解するとともに、「地域協働インターンシップ」や「六次産業化インターンシップ」、「首長・社長インターンシップ」などのインターンシップ科目により地域社会を実地で学ぶことができます。 ▶ このプログラムにより、地域社会の発展・振興に大きく貢献できる深い知識や技能を身につけ、卒業時には高知大学地方創生推進士（農学）の認定を受けることができます。 あなたは、このような「地域志向枠」を受験してみたいと思いますか。いずれかに○をつけてください。	
	受験したいと思う	受験したくないと思う

Q7	Q5・Q6で受験した結果、合格した場合に入学したいと思いますか。いずれかに○をつけてください。	
	入学したいと思う	入学するかはわからない

ご協力ありがとうございました。

高知大学 農林海洋科学部における教育改革の概要

設置の趣旨・必要性（地域連携プラットフォームで顕在化している課題の解決に向けて）

○ 1次産業の高度化に資する人材育成

- ・スマート農業など最先端の1次産業を担う人材
- ・1次産業から他産業に普及できる6次産業人材

○ 持続可能な1次産業の実現

- ・1次産業を推進・発展させる指導・普及人材
- ・持続可能な農業経営等に係るリカレント教育

○ 地域社会への人材輩出・定着

- ・地域の高等学校・農業大学校からの接続
- ・地域の現場と結びついた実践教育の展開

教育組織改革と教育のさらなる充実により高知県の一次産業の課題に対応

R5改革のポイント

IoP研究をベースとする1次産業DX教育の強化と6次産業化教育への展開

地域の求める人材育成に向けた学部改組

- ・農学系2学科統合による**総合的農学教育**の展開
- ・**IoPプロジェクトの成果や体系的なデータサイエンス教育導入**による1次産業DXに向けた人材育成
- ・経営学・経済学分野充実による**持続可能な農業経営教育・6次産業化教育**
- ・地域社会と連携した**キャリア教育**の充実

地域への人材輩出に向けた入学者選抜の改革

農林資源科学科：計135人

- うち 高知県枠入試15人を新設
- 総合型選抜 I 5人
- 学校推薦型選抜 I 10人
(うち 専門推薦 5人)

+ 3年次編入学定員の導入 2人

農林資源科学科（入学定員135人、編入学2人）

学士課程教育 × 社会人教育

- 1次産業DX教育
次世代農業教育プログラム × IoP塾 の連携による学士課程・リカレント教育の融合
- 6次産業化教育
6次産業化教育 × 土佐FBC の連携による学部学生と社会人の学び合いの実現
- 社会人教育から大学院教育への接続
IoP塾・土佐FBCから修士課程への接続

改革後の養成する人材像

農林資源科学科

学 位：学士（農学）
入学定員：135人
編 入 学：3年次 2人

フィールド科学コース
農芸化学コース

2つのコースを、DS・DX教育、
6次産業化教育などで融合

海洋資源科学科

学 位：学士（海洋科学）
入学定員：65人

【農林海洋科学部の養成する人材像】

農学・海洋科学の諸分野から、持続的社会的創造を志し、一次産業のDXに資するデータサイエンスの知識や農林海洋資源の持続的開発・利用や環境保全等の諸課題に対応できる豊かな知識・素養と技能、実践力を併せもった人材

【農林資源科学科の養成する人材像】

農林資源の有効活用による持続的社会的創造を志し、俯瞰的に問題を分析し、データに基づく論理的考察により問題の本質を把握し、実際に行動し解決できる能力を有するとともに、農林業に関わるフィールド科学または農芸化学に関する専門的な知識、並びに農林業に関わるデータサイエンスやDX の知識を併せもった持続的資源開発・利用、環境保全等の諸課題や6次産業化に対応できる実践力のある専門人材

R5農林海洋科学部改組で達成

- 地域ニーズに対応した「DS・DX教育」、「6次産業化教育」の導入
- 地域から受け入れ、地域に人材輩出する「高知県枠」、「3年次編入学」の設定
- 高知県、IoP企業等と連携したキャリア教育（インターンシップなど）

さらなる発展・教育の充実に向けて（R7 構想中）

- **15人**の「地域志向枠」の導入（全国から高知へ地方創生の人材を受け入れ）
- 「6次産業化教育 × 地方創生推進士」による高知県への人材定着
- DS教育では、「応用基礎レベル」の認定による質保証

高知大学 農林海洋科学部農林資源科学科における人材輩出機能の強化

地域から受け入れ地域に輩出



地域枠
15人
R5~

- ・IoPプロジェクトでの農業高校連携
- ・スーパーサイエンスハイスクールによる普通科高校連携
- ・農業大学校との連携による編入学

農林海洋科学部 農林資源科学科 (R5.4改組設置 + R7拡充計画)

次世代農業教育プログラム

地域枠入学者・3年次編入学者 必修プログラム

次世代農業科学コース

- ・スマート農業の生産から加工流通までの知識を体系的に修得

スマート農業 I・II
植物工場

AI・プログラミング実践コース

- ・データ駆動型農業の理解・実践に必要な知識を修得

農工情報共創学
農科のためのプログラミング

地域の現場と連携したキャリア教育

- ・地域の農業現場であるJA高知県・農業普及所・IoPプロジェクト関連企業と協働したインターンシップ

インターンシップ (実践力)

体系的な次世代農業教育プログラムにより、1次産業DXを推進できる専門人材に

学科4年間の教育課程の特色

一次産業DS・DX科目群

- ・体系的なデータサイエンス教育・数理・データサイエンス・AIプログラム「応用基礎レベル」申請
- ・IoPプロジェクトから1次産業全体へ波及

キャリア教育

- ・高知県・JA・県内企業と連携したインターンシップ・キャリア教育
- ・「学び創造センター」と連携したキャリア教育の展開

経営学・6次産業化教育

- 土佐FBC (修士・リカレント) とのシナジーを生み出す農業経営教育・6次産業化教育



土佐FBC

高知 (地域) の課題解決を題材とした

「卒業論文」

さらなる発展・教育の充実
に向けて (R7 構想中)

全国から受け入れ地域に輩出



地域志向枠
15人
R7~

- ・地域課題解決に関心を有する意欲的な学生を全国から募集
- ・出身県の視点から、「課題先進県」高知の現状を相対化・認識
- ・一次産業を実地に学び、その将来を担う能力を修得、活性化リーダーに

地方創生推進士 (農学)

【新規】地域志向枠入学者 必修プログラム

1st phase 地域を知る 2nd phase 地域をもっと知る

IoP総論 スマート農業 I・II
6次産業化教育関連科目
農業振興論 六次産業化論
生物機能利用学、資源有機化学

3rd phase 地域と会う 4th phase 地域を体験する

キャリア形成論
インターンシップ (2科目)
6次産業化インターンシップ
社長・首長インターンシップ

5th phase 地域と協働する

ベーシック/アドバンスド
国内サービラーニング

地方創生推進士の学びで、地域に密着した学びにより、地域課題解決の担い手となる専門人材へ

主な就職先

一次産業DX人材

研究開発

大学院進学
公設試験研究機関
普及・実装

JA等
技術系 (農業) 公務員

就農

新規就農
雇用就農 (農業法人等)

大学プロジェクト関連企業

デバイス関連企業
ソフトウェア関連企業

起業

一次産業DX人材

研究開発

大学院進学
公設試験研究機関

普及・実装

JA等
技術系 (農業) 公務員

6次産業化関連企業

食品加工関連企業
流通業

大学プロジェクト関連企業

デバイス関連企業
ソフトウェア関連企業

起業

※ 「さらなる発展・教育の充実に向けて」の内容については、構想中のものであるため、変更になる可能性があります。

高知大学農林海洋科学部農林資源科学科の人材ニーズに関するアンケート調査



平素より高知大学農林海洋科学部に対し、格別のご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

本学部では、DS（データサイエンス）に強く、DX（デジタルトランスフォーメーション）の知識と技量を兼ね備えた未来型人材を育成するため、2023（令和5）年に農林海洋科学部の改組を行いました。次のステップとして、農林資源科学科では地域志向枠入試を実施し、地方創生推進士の認証取得できる学びにより、地域の課題解決の方策を考えることのできる人材育成を目指しています。

「地方創生推進士」：地域の未来をつくる革新力となる人材、すなわちローカル・イノベーターとして期待されており、高知県のみならず全国各地に広がっています。

※（参考資料） https://www.kochi-u.ac.jp/files/00151412/2021re_suisinnshipanhu.pdf

このアンケートは、企業等の採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、卒業生の就職先として想定される企業の人材ニーズを把握し、今後の計画推進の参考資料とさせていただくものです。

大変ご多忙中とは存じますが、ご協力賜りたく何卒よろしくお願いいたします。

なお、本調査で得られた情報や回答内容は上記の目的のための統計資料としてのみ使い、個票を外部に公表したり他の目的のために使用することはありません。

回答期限：2024年6月18日(火)

※期限が短く大変恐縮ですが、何卒よろしくお願いいたします。

【問い合わせ先】

高知大学農林海洋科学部 総務部物部総務課学務室学生支援係

電話：088-864-5112 メール：km13@kochi-u.ac.jp

* 必須

はじめに、貴社・貴団体についてお伺いいたします。

1. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください。*

2. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。*

農・林・漁・鉱業

建設業

製造業

電気・ガス・熱供給・水道業

情報通信業

運輸業

卸売・小売業

金融・保険業

不動産業

飲食店・宿泊業

医療・福祉

複合サービス事業

サービス業

公務

その他

3. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員）について、ご回答ください。*

- 50名未満
- 50名～100名未満
- 100名～500名未満
- 500名～1,000名未満
- 1,000名～5,000名未満
- 5,000名以上

次に、高知大学農林海洋科学部農林資源科学科の育成する人材について伺います。

農林資源科学科で育成を目指している人材には、以下のような特色があります。
貴社・貴団体（ご回答者）にとって、これらの特色はそれぞれの程度魅力に感じますか。

4. A. フィールド科学と農芸化学を統合した分野横断型の学びによって、幅広い知識と技術を修得できる。*

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

5. B. 農林資源科学の高い専門性に加え、データサイエンスや一次産業DXの知識や技能を修得できる。*

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

6. C. 地域が抱えている課題を理解し、上記の知識と技能で課題解決の方策を考
えることができる。*

- とても魅力を感じる
- ある程度魅力を感じる
- あまり魅力を感じない
- まったく魅力を感じない

最後に、高知大学農林海洋科学部農林資源科学科についてお伺いいたします。

高知大学では、地域の未来をつくる革新力となる人材、すなわちローカル・イノベーターとして期待されている「地方創生推進士」の育成も行っており、高知県のみならず全国各地に広がっております。

※（参考資料） https://www.kochi-u.ac.jp/files/00151412/2021re_suisinnshipanhu.pdf

7. 農林海洋科学部農林資源科学科で「地方創生推進士」の知識と技能を備えた人材は、貴社・貴団体における採用とする人材として期待しますか。*

- とても期待する
- ある程度期待する
- あまり期待しない
- まったく期待しない

8. 貴社・貴団体（ご回答者）は、高知大学「農林海洋科学部農林資源科学科」は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。*

- 必要だと思う
- 必要だとは思わない

9. 貴社・貴団体（ご回答者）は、高知大学「農林海洋科学部農林資源科学科」を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。*

- 採用したいと思う
- 採用したいとは思わない

10. 高知大学「農林海洋科学部農林資源科学科」を卒業した学生について、採用を考える場合、毎年何名程度の採用を想定されますか。*

- 1名
- 2名
- 3名
- 4名
- 5名～7名
- 8名～10名
- 11名以上

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

LOCAL INNOVATOR



わたしは、
地方創生
推進士です

地方創生推進士をもっと知るための地方創生推進誌



取得するには？

地方創生推進士育成科目を1st phaseから4th phaseまで修得
各phaseに配置された地方創生推進士育成科目(正課・準正課)を各phaseの必要単位分修得します。



称号取得のための申請は、
次世代地域創造センターへ

- 履修状況を確認
- 必要書類を案内
- 面接

地方創生推進士称号授与

称号取得者には認定書と推進士の証となるバッジが授与されます。



「地方創生推進士」とは
地域への深い理解と愛情を
証明する称号です。

さまざまな課題をかかえる高知県に必要なのは、地域生活や文化、産業を担い発展させていく「革新力」を持った人材です。そこで高知大学は教育プログラムを整備し、地域への理解と愛情を深め地域で働きたいという志を持った学生を育成し、「地方創生推進士」として認証※しています。地域の課題と向き合ういろいろな活動プログラムを、「地方創生推進士」育成科目として位置付けています。

地域社会への理解を深め課題解決に取り組んだ証として、そしてそのプロセスで育んだ「革新力」を証明するための称号が地方創生推進士です。

2020年12月現在までの地方創生推進士の数

➔ 113名



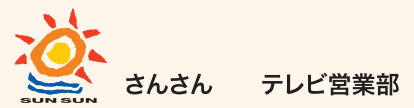
※平成27年度文部科学省の「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」(COC+)として高知大学が代表校となり、「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」事業を進めてきました。「地方創生推進士」認証制度は、この事業の一環で創設されました。

わたしは、
地方創生
推進士です
「國元さん」編



國元 愛優さん
高知さんさんテレビ 営業部
高知大学 人文学部
国際コミュニケーション学科
2018年卒業

インターンシップの中で実感したり
気づいたことが、今の会社を選んだ
きっかけになっています



チホウ、ノウセイ スイシンシ トーク

地方創生推進士の
國元愛優さんは、
高知さんさんテレビに就職。
資格のメリットや仕事に
活かせる点などについて、
上司の岡田敏久さんと
語りました。



岡田 敏久さん
高知さんさんテレビ
営業局次長

学生時代にいろんな経験をした人は、
社会人として必要な
コミュニケーション能力が高い気がします

インターンシップでは 新しいキャンペーンを提案

岡田 國元さんは当社が初めて採用した「地方創生推進士」。この資格を取得しようとした動機はなに？

國元 大学1年生の時から、留学生と学生、地域をつなげる活動を行っている学生団体「国際茶屋」に参加していました。四万十町の米奥小学校で大運動会を開催し、本山町や黒潮町のイベントなどにも参加するなか、地方創生推進士のことを知りました。卒業後は高知で就職し、高知を盛り上げたいという思いがあり、就職活動で有利だとも思ったので取得しました。

岡田 地方創生推進士の資格はどうやったら取れるんだろう？

國元 18単位の教育プログラムを履修し、地域での実習やインターンシップなどを行うことで取得できます。私の場合、取得しようと思ったのが3年生の夏くらい。卒業まであと1年半ほどしかなかったので、急ピッチで頑張りました。

岡田 インターンシップについては、國元さんはどういったところに入ったの？

國元 地域の課題解決に取り組んでいる教員に同行し、地域活性化を学ぶUBCインターンシップに参加しました。当時私が友達と始めたSNSで多くのフォロワーを抱えていたこともあったので、その経験を活かし、UBCの岡村先生と黒潮町役場のSNSを使った活性化に取り組みました。

岡田 具体的にはどんなことに取り組んだの？

國元 出稿をいただく業務に就いている。クライアントから「元氣印の子」と言われて頑張っているが、日々の業務のなかで、地方創生推進士の資格はどう役立っているだろう。

國元 資格取得に向けたいろいろな勉強や実践、体験がとても役に立っています。例えば、黒潮町の経験から、SNSの効果的な発信の仕方などをアドバイスできます。でも、地方創生につながっているかといえは、まだ自信はありません。

岡田 地元企業の広告の予算を預かるということは、そのクライアントさんの商売がうまくいき、潤うことにつながるわけだ。いまの仕事も、地方創生に寄与していると十分いえると思うよ。自分でも資格を取って良かったと思っているんだよね？

國元 もちろん、そうです。学んだこと以外に、地方創生推進士という名前自体も面白いので、自分に興味

り組んだの？

國元 当時の黒潮町役場ではInstagramを使った広報活動を始めようとしていたので、役場のSNSをGoogleアナリティクスで分析したり、ハッシュタグを使った新たなキャンペーンを提案させてもらったり。やっていくうちに、だんだんと行政機関と民間企業の違いも理解できるようになりました。

岡田 とてもいい経験をしたようだね。インターンシップについて、学生にひとつアドバイスをすると、企業に受け入れてもらっていることを感謝しながら、学生目線で企業を評価する場にしてほしい。経験すればするほど、気づきの大きなチャンスになると思う。

資格取得に向けた 学びや体験が大きな財産に

岡田 地方創生推進士の資格取得に向けて、地域のことを様々な面から学んだ國元さんが、高知さんさんテレビというメディアで働こうと思った理由は？

國元 UBCインターンシップで黒潮町役場と協働させていただき、SNSの可能性をすごく感じました。しかし、マスメディアの力はまだまだ大きい、ということも改めて実感したんですね。そこで、高知で頑張りたい人をもっと広い層に発信したい、と思って入社しました。

岡田 國元さんは入社して2年目。営業部に配属され、コマーシャルの

を持つてもらおうきっかけになっています。

岡田 地域活動に関与してみよう、と思うこと自体が大事だろうね。資格取得に向けた過程のなかで、社会人として最も必要とされるコミュニケーション能力も高まっていくはずだ。高知大学がこの取り組みに力を入れてるのは素晴らしいと思う。高知大学の学生さんには大いに期待しています。

國元 私の後輩の学生たちに向けて、何かアドバイスをいただけませんか？

岡田 先輩や上司から言われることが絶対に正しいわけではない、と思うのがおススメ。あくまでも話や指示をきちんと聞いたうえで、自分の意見を言い、行動するような仕事のやり方を目指してほしい。若い人ならではの発想を、私たちも大事にしたいと思っています。



企業のPR活動を学ぶ
(社長インターンシップ)



経営者向けセミナーに参加
(社長インターンシップ)



CMスケジュールの打ち合わせ

わたしは、
地方創生
推進士です
「岡上さん」編

自分をアピールする ための強い材料に なります

不動産会社 エイブルネットワークのファースト・コラボレーションに入社した岡上あさひさん。
地方創生推進士になろうとした動機、取得に向けた活動内容、資格のメリットなどを語ってもらいました。

「地方創生推進士の資格を
なぜ取るうと思いましたか？」

価値観の違う人と協力して何かを作ったり、提供したりする「協働」に興味があり、地域協働学部に入りました。入学後、地方創生推進士の資格を先生方から繰り返しすすめられ、興味が出てきました。社会に出たあと、資格によって自分をよりアピールできるのでは、「コミュニケーションを取るうえで何かの糸口になるのでは」と考え、取得することにしました。

「履修した授業のなかで、
特に印象に残っているのは？」

毎回、中小企業の社長や社員さんが講師になってくださる「高知の中小企業を知る」という授業ですね。高知のことや仕事の内容など、興味深いお話を聞かせていただいて、とても勉強

になりました。講師を受けてくださるのは、地域活動や学生の考え方に心があがるからなのでしょう。こうした会社に就職すれば、地域に根差して、住民を大切にできる仕事ができるのではないかと、思うようになりました。

「SBI（人間関係形成インターンシップ）で学んだことは何ですか？」

学科や学年がバラバラの3人1組で3週間行う準正課、SBIのインターンシップも履修しました。高知市のホテルで、1週目はベッドメイキングなどの清掃、2週目はホテルのフロント業務、3週目はレストランや宴会などの料飲部門を体験させていただきました。取り組むなかで協働やチームワークの重要性を学ぶことができ、いい経験になりました。

「CBI（長期社会協働インターンシップ）で学んだことは何ですか？」

選択科目のインターンシップにはCBIもあります。学生が業種や地域などを希望し、受け入れてくださるところに行くというものです。それまで地域協働学部の実習を通じて、仕事をリタイヤされた方、子育てが落ち着いた方などが地域活動に向かうことを知ったので、そういった方が活躍できる仕組みを学びたいと思いました。また、地域活動を行うなかで、高齢者の方とかかわることが多いので、自分なりの死生観を持っておきたいとも。そうした希望を出して、横浜市の葬儀会社をご紹介いただき、3か月ほど長期のインターンシップを行いました。

葬儀やお通夜、終活セミナー、会社に親しみをもってもらうために催すイ

ベントなどを体験させていただき、本当に勉強になりました。死と向き合ったことにより、いつ何が起るかかわからないことを実感し、家族を一層大切にしたい、地域の人たちとお付き合いも大事にしなければ、と思うようになりました。

「入社する会社を選んだ
決め手を教えてください」

会社を訪ねたとき、社員さんがキラキラして、楽しそうに仕事をしているのがとても印象的で、ああ、ここで働きたいと思いました。会社の利益を超えて、地域の活動に協力する会社でもあり、こうしたところも自分のマイノリティと一致しました。
じつはCBIの中で、「仕事とは何か」という課題を出されたとき、インタビューを引き受けてもらったのがいまの会社なんです。

「地方創生推進士の資格は
仕事で活かされていますか？」

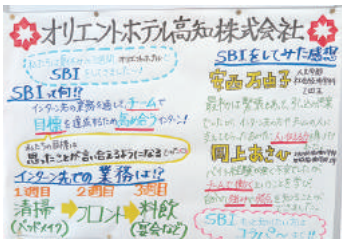
資格を取る過程のなかで、「コミュニケーション能力が高まったと実感しています。人と上手に接することはどの仕事でも必要でしょうが、お部屋探しの仕事の場合、潜在的な要望も引き出さなければいけないので、「コミュニケーション能力はことさら重要なんです。また、職場は年齢や価値観の違う人の集まりなので、チームワークの重要性を学んだことも活かされています。

「仕事をすすめるうえで、
今後の目標は何でしょう」

いまは目の前の仕事をこなすので精一杯ですが、いずれはもっと地域に根差したイベントや活動をしたいと思っています。仕事に自信がつき、気持ちに余裕がきたら、制服に地方創生推進士のバッジをつけて、この資格のことを広くアピールしたいですね。

「在学生に向けて、
アドバイスをお願いします！」

地方創生推進士の資格を取るための学びは、私には良いことしかありませんでした。本当に自信になるので、ぜひ取得してほしいですね。チームワークやプレゼンテーションの仕方、目上の人との接し方などが身につくので、地域に興味がない人にもおすすめです。自分をアピールするための強い材料になるはずです。



SBIで作成した「SBI新聞」



お世話になった企業関係者の方を前に、SBIでの学びを発表



店頭で、お客さまに物件のご案内



岡上 あさひさん
ファースト・コラボレーション 南国店
高知大学 地域協働学部 地域協働学科
2019年卒業



専門的な学びに加えて、 高いコミュニケーション能力に期待

川竹 来年度、高知大学からの採用はありますか。
坂口 理工学部から2名を採用し、いずれも開発部に配属予定です。
松浦 開発部では歯科材料の分析と設計を行っています。いま弊社は有機材料に力を入れていて、有機化学の素養のある学生が入社後活躍しています。
川竹 入社した若い人材は、どのように育成されているのでしょうか。
坂本 能力のある人材は、早々に大学院に行ってもらいます。教科書だけではわからない、生きた学問に触れて成長し、周りにもっと勉強しなければと、好影響を与える人材になってもらうのが大きな目的です。
川竹 高知大学では専門の学びとは別に、地域に触れ、交流を経験する学生を地域創生推進士として認定しています。こういった人材に対する期待はありますか。
坂本 地域の人と縁をつないで、いろいろな取り組みをするという経験は、大変素晴らしいと思います。弊社は中小企業なので、有機化学しか知らないでは済まされません。ほしいのには周りにバリエーションを張らず、自分の能力を限定しないで、いろいろなものを取り込んでいける人です。また、弊社で

に、と言われたとのこと。これも多世代との交流の経験が活かされたということでしょう。
西内 こうした経験があれば、JAに入っても活躍の場はたくさんあると思います。例えば、営農指導員は、生産者を訪問し、コミュニケーションを取るのが最も大事です。地域を巻き込んだイベントも多いので、こうした場でも体験で得たことを発揮できます。また、店舗で対応する職員も、組合員さんとのコミュニケーションは基本です。どの場面でも大いに活躍できるでしょう。
大坪 事務職にしても、職場のなかのコミュニケーションが重要です。JAに限らず、どの企業のどの職種でも、コミュニケーション能力は高いものが求められると思います。
山本 地方創生推進士の方は、地域と交流する経験のなかで、いろいろなることを考え、たくさん知識を得て、自分で考えたことを発信し、行動する力が一般の学生さんよりも優れていると思います。そういった思考力や発信力、行動力によって、即戦力として活躍できるのではないのでしょうか。
川竹 地方創生推進士というのは、就職活動の際に履歴書に書ける資格だと学生に伝えていますが、様々な経験をされているので、面接で掘り起こしていただければ

幅広い多世代との交流の経験は、 どんな仕事をするうえでも役立つはず

川竹 高知大生の採用状況を聞かせてください。
山本 2019年1月のJA高知県発足に合わせて、過去2年間、全県下で採用してきました。高知大学からの採用は計8名で、農林海洋科学部が多いですね。入組式で新採用職員代表挨拶をしてもった新人もいます。
川竹 高知大学では地方創生推進士の育成に取り組んでいます。この資格を取得した人材について、期待するところはありますか。
大坪 私たちは農業を中心とする地域密着の組織です。なかでも郡部に行く、人とのかわり具合の温度が高いので、地域の人と交流した経験があるというのは、非常に大きなメリットになります。特に近年、面接をして強く感じるの、年齢の異なる多世代と交わった経験の少ない人が多いということですね。家族もいまでは核家族が多いですね。幅広い世代と交流した経験は、仕事をするうえでとても役に立つと思います。
川竹 私は地方創生推進士の取得を希望する学生と面談をします。取得に向けた学びを経験し、ここが変わったかの質問に対して、県外出身の学生が、帰省したとき、近所の人に話しかけるようになったそうです。家族からは、こういった子ではなかったの

は高知大学医学部さんなどと一緒、地域医療を守っていく取り組みをしています。こうした事業で、コミュニケーションの縁をつなぐ役割をしてもらうのもいいかもしれません。
松浦 地域に入って話を聞き、課題を抽出し、解決に向けて動く。こうした経験により、汎用性の高い能力が身につくのではないのでしょうか。加えて各企業の専門的な部分とマッチすれば、活躍できる人材として期待を寄せられそうです。
坂口 様々な年齢層の方と関わる機会が多いのは、大きなポイントだと思えます。そういう経験を積んでいる学生ほど社会で活躍する傾向がありますので、企業側の期待値も大きくなるでしょう。あまり経験できない取り組みなので面白いですね。
川竹 ありがとうございます。学生に対して、ほかにこういったことを学んでほしい、身につけてほしい、というメッセージをいただければ。
坂本 日本語を大切にしたいですね。会社に入ると、実践しポートや申請書など、様々な書き物があり、すべて書き方や言い回しが違います。私たちが日本語の難しさは痛感しています。逆にいえば、日本語が書ける人材はどの企業でもほしいと思います。

松浦 私のいまの仕事には、修士・博士論文にかかわる調べごと、課題の検証、先生への説明など、学生時代に経験した一連の流れが基礎体力になって役立っています。こうした適切な訓練を、ぜひ経験してほしい。
坂口 YAMAKIN社員が講師を務める大学の講義で、学生からの質問が非常に少なかったのが、積極的に発言して頂けると嬉しいです。また就職活動では、Webサイトで調べることが主体となりがちですが、Web上の情報は限られています。極端なことを言えば企業の良い面しか掲載されていません。ぜひご自身の目で直接企業を見学・確認することを勧めます。
西内 アルバイトやサークル活動も含めて、学生のときに、いろいろな面で積極的に活動しておくことは大切でしょう。こうした経験が、周りを引っ張っていきける人に成長させる近道ではないでしょうか。
大坪 採用する側としては、短い時間の面接やペーパー試験に頼らざるを得ない。地方創生推進士の資格が履歴書に書かれたあれば、地域のわかるので、就職活動では業種を問わず有利だと思います。
西内 アルバイトやサークル活動も含めて、学生のときに、いろいろな面で積極的に活動しておくことは大切でしょう。こうした経験が、周りを引っ張っていきける人に成長させる近道ではないでしょうか。
大坪 採用する側としては、短い時間の面接やペーパー試験に頼らざるを得ない。地方創生推進士の資格が履歴書に書かれたあれば、地域のわかるので、就職活動では業種を問わず有利だと思います。



坂口さん 坂本さん 松浦さん



西内さん 山本さん 大坪さん

県内企業約50社にアンケートしました!
企業のホンネ
 提供元: 学生空間「One Step」

Q1 高知大学生のイメージ

1位 活動的 (26票)
 ・地域貢献や地域活性化に対して意欲的な意識を持って活動している学生が多い。
 ・元気があふれる！熱い！
 ・活気があり、様々なことに挑戦している。

2位 真面目 (18票)
 ・非常に真面目で優秀な印象。
 ・説明会ではよく質問を受けけることも多く、真面目さと熱意を感じます。

3位 地元愛が強い (17票)
 ・高知のことが好きな人が多い！

Q2 就職までに身につけて欲しいこと

多種多様な経験
 ・卒業するまでにより多くの人と出会い、話をし、視野や価値観を広げて欲しい。
 ・自分の興味関心があることについて積極的に行動してください。思わぬところで役に立ちます。

コミュニケーション能力

・仕事上、色々な方とコミュニケーションをとる必要があるため、幅広い年齢層やジャンルの方と交流することに慣れて欲しいです。
自己分析
 ・自分のできることや魅力などを客観的に捉えることで自信が繋がります。

その他
 ・基本的なPCスキル
 ・プレゼン能力
 ・マナー 等

Q3 社会人にとって大切なこと

学び続けること
 ・多くの人と接する中で、自分にとって大切なことは何かを学び、判断すること。

協調性
 ・常に会社というチームで動くためまずは自分の役割を果たす気持ちが大事です。

チャレンジ精神
 ・自ら学ぼうとする姿勢や考える意識を持つと、周りとの成長スピードが変わってくると思います。

その他
 ・柔軟な発想力
 ・計画性

より良い社会を創ることも民間企業の目標である事をインターンシップで学んだ。

就職希望の業種
ソフトウェア関係



理学部
応用理学科

村上 郁哉
Fumiya Murakami

● 取得を目指す君へ

『興味あることにどんどん挑戦しよう』

Q.資格を取ったきっかけ

先輩がジャケットにつけていた地方創生推進士のバッジがとてもカッコよく、私も欲しいと思ったことがきっかけでした。また、自分を売り込む際の強力なPRポイントになると考えたことです。これをきっかけに、大好きな高知の良さを県外の人に発信したいと思っています。

地方創生推進士のバッジに憧れた！



Q.印象に残った活動

土佐の日曜市で学生ボランティアとして活動したことです。代表として団体の存続について頭を抱えていたときに、出店者や関係者の方から言われた「君らがおってらわな困る」という言葉を貰った時が一番嬉しく、また使命感を感じた瞬間でした。たくさんの失敗と体験ができ、成長させてもらいました。



Q.後輩へメッセージ

地方創生推進士を目指すということは、すなわち困難に立ち向かい自分に挑戦することです。高知の大学生にしかできない体験や挑戦がたくさんあります。どんな失敗も必ず糧になるので、物怖じせず興味の向くことには挑戦して、大学生という貴重な時間をやり多めにしてください！

社長インターンシップで企業の事業内容だけでなく、自分の考えの幅が広がった。

就職希望の業種
教育関係



人文社会科学部
人文社会科学科

武江 美洋
Mihiro Takee

Q.資格を取ったきっかけ

サークルの先輩から、地方創生推進士を勧められたことがきっかけでこの資格を知りました。高知に密着したプログラムが組まれていること、さらにプログラムで学んだことが資格という形として残ること、この2つに魅力を感じ地方創生推進士の取得を目指そうと思いました。



視野が広がった！

Q.企業を選ぶ決め手

やはり自分が働いているイメージが持てる企業です。まず自分がどんな働き方をしていきたいかを考えることが重要だと思っています。私は始めに高知県内の企業を見て自分が望む働き方の傾向をつかみ、自分の軸と照らし合わせながら、働いている想像ができる企業を探して就職活動に臨みました。

Q.後輩へメッセージ

この資格を取得していく過程で、パワー溢れる高知の人たちに出会えたことが一番良かったです。それぞれ熱い思いを持って活動されている人たちから色々な話やアドバイスを頂いたおかげで、自分は将来どんな思いで何がしたいのかを見つめ直すことができ、就職活動などで自己分析をする時にも役立ちました。



● 取得を目指す君へ

『人との関わりで自分を知る』

地域発展のために、現場のことを常に考えて働ける人材になりたいと思った。

就職希望の業種
公務員
(県庁・市町村)



農林海洋科学部
農林資源環境科学科

横佐古 優太
Yuta Yokosako

● 取得を目指す君へ

『地域というフィールドに飛び出そう』

Q.資格を取ったきっかけ

野生動物に興味があった私は、高知の中山間地域で野生動物との軋轢(鳥獣被害)が起きていることを知り、その問題を解決するために地域自体のことを知らなくてはと思うようになりました。そこで地域に関わる実習を取り、もっと地域に深く入りたいという思いから、地方創生推進士になろうと思いました。



Q.印象に残った活動

「土佐の懸橋ハンプロ」という狩猟団体を仲間と共に立ち上げました。ハンプロは狩猟を中心とした活動を行い、学生が少しでも地域の獣害対策に貢献することを目的としています。地域の農家さんに、「猟師が減っていく中、若い者が狩猟をやってくれて助かる」と声をかけてもらった時は、とても嬉しかったです。

ハンプロで自ら積極的にチャレンジ！



Q.後輩へメッセージ

高知県は全国で一番、中山間地域のことを現場で学べる場所だと思っています。地域で活動する中で、様々な課題に触れ、自分が情熱を懸けて取り組みたいことも発見できました。それが地方創生推進士の取得にも繋がっています。4年間、大学の中だけにいるのもったいないです。ぜひ地域という広大なフィールドに飛び出してみてください！

実習では、悩むことも多くあったが、その苦労があったからこそ今の自分がある。

就職希望の業種
建設関係



地域協働学部
地域協働学科

矢野 光孝
Mituyoshi Yano

Q.資格を取ったきっかけ

地方創生推進士の第一印象は、学部のカリキュラムを消化するだけで取得できるおいしい資格というものでした。特段何に役立つとか、何のために取るといった崇高な志があったわけではなく、「ネームバリューとして遜色はないな」という思いから資格取得に踏み切りました。

Q.企業を選ぶ決め手

私は大学を通さず有償インターンという形でまず会社に入り、春休みは毎日通っていました。年度末は繁忙期になる業種で残業も多いですが、それ以上に上司や先輩社員に魅力的な人が多かったため、この職場で働きたいと決意しました。



会話は役立スキル！



Q.後輩へメッセージ

「年上の人と失礼のない程度に砕けた会話ができる」スキルは重要です。就職すれば、右も左もわからない状態からのスタートになります。仕事でわからない点を、聞くべき時に聞くべき人に尋ねる等、仕事の上で欠かせない技術であり、様々な場面で役立ちます。

● 取得を目指す君へ

『コミュニケーションスキルをつける』

お問い合わせ先▶ 高知大学 次世代地域創造センター
〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47
TEL:088-844-8293 FAX:088-844-8556

次世代地域創造センターでは、地域社会の多種多様な課題の解決を目指して、中核人材のキャリア形成および地域プロジェクトの社会実装を推進します。

<http://www.kochi-u.ac.jp/cersi/>



新設組織が置かれる都道府県への入学状況

○出身高校の所在地県別の入学者数の構成比（上位5都道府県）※直近年度

	都道府県名	人 数	構成比
1	高知県	748人	33.5%
2	岡山県	162人	7.3%
3	愛媛県	161人	7.2%
4	兵庫県	149人	6.7%
5	徳島県	127人	5.7%
	全 体	2,233人	100.0%

※「学校基本調査」の「出身高校の所在地県別入学者数」から作成すること。

※大学、学部、学部の学科、短期大学、短期大学の学科を設置する場合のみ作成（専門職大学、専門職短期大学、高等専門学校を含む）。大学院は作成不要。

○新設組織が置かれる都道府県の定員充足状況

	新組織所在地 (都道府県)	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	高知県	99.86%	101.49%	100.81%
2				

※2校地で教育課程を実施する場合はそれぞれの状況を記載すること。

○新設組織の学問分野（系統区分）の定員充足状況

	系統区分	充足率		
		令和3年度	令和4年度	令和5年度
1	農学系	96.41%	102.65%	103.32%
2				

※「系統区分」は日本私立学校振興・共済事業団の「今日の私学財政」の系統区分に従うこと。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人	
	延べ人数	志願者数	39人	28人	46人	27人	34人	35人
		受験者数	38人	28人	46人	27人	33人	34人
		合格者数	8人	8人	10人	8人	9人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	39人	28人	46人	27人	34人	35人
		受験者数	38人	28人	46人	27人	33人	34人
		合格者数	8人	8人	10人	8人	9人	9人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	8人	8人	10人	8人	9人	9人		
学校推薦型選抜	募集人数	90人	90人	80人	80人	80人	84人	
	延べ人数	志願者数	212人	204人	172人	156人	144人	178人
		受験者数	212人	204人	172人	155人	143人	177人
		合格者数	91人	90人	86人	82人	84人	87人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	212人	204人	172人	156人	144人	178人
		受験者数	212人	204人	172人	155人	143人	177人
		合格者数	91人	90人	86人	82人	84人	87人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	91人	90人	86人	82人	84人	87人		
一般選抜	募集人数	177人	177人	187人	187人	187人	183人	
	延べ人数	志願者数	790人	713人	837人	732人	528人	720人
		受験者数	574人	554人	550人	427人	342人	489人
		合格者数	222人	244人	227人	226人	223人	228人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	38人	62人	36人	35人	32人	41人
	実人数	志願者数	790人	713人	837人	732人	528人	720人
		受験者数	574人	554人	550人	427人	342人	489人
		合格者数	222人	244人	227人	226人	223人	228人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		38人	62人	36人	35人	32人	41人	
入学者数	184人	182人	191人	191人	191人	188人		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数	19人	22人	15人	14人	8人	16人
		受験者数	19人	18人	15人	14人	8人	15人
		合格者数	5人	6人	2人	4人	2人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	2人	4人	0人	3人	2人	2人
	実人数	志願者数	19人	22人	15人	14人	8人	16人
		受験者数	19人	18人	15人	14人	8人	15人
		合格者数	5人	6人	2人	4人	2人	4人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		2人	4人	0人	3人	2人	2人	
入学者数	3人	2人	2人	1人	0人	2人		
合計	募集人数	275人	275人	275人	275人	275人	275人	
	延べ人数	志願者数	1060人	967人	1070人	929人	714人	948人
		受験者数	843人	804人	783人	623人	526人	716人
		合格者数	326人	348人	325人	320人	318人	327人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	40人	66人	36人	38人	34人	43人
	実人数	志願者数	1060人	967人	1070人	929人	714人	948人
		受験者数	843人	804人	783人	623人	526人	716人
		合格者数	326人	348人	325人	320人	318人	327人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		40人	66人	36人	38人	34人	43人	
入学者数	286人	282人	289人	282人	284人	285人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	275人	275人	275人	275人	275人	275人
入学定員充足率	1.04	1.03	1.05	1.03	1.03	1.03
歩留率	0.88	0.81	0.89	0.88	0.89	0.87

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

その他の特別選抜は、私費外国人留学生選抜（募集人数：若干名）

令和4年度入試一般選抜欠席者3名に対し実施した追試験については、上の表には含んでいない。（合格者無し。）

令和2年度の後期日程においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により後期日程の個別学力検査を行っていないため、志願者数から前期日程・学校推薦入試の入学手続者を除いた選考対象者数を受験者数として計上している。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	47人	47人	52人	52人	52人	50人	
	延べ人数	志願者数	119人	125人	134人	109人	124人	122人
		受験者数	119人	125人	134人	108人	124人	122人
		合格者数	50人	48人	57人	52人	59人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	119人	125人	134人	109人	124人	122人
		受験者数	119人	125人	134人	108人	124人	122人
		合格者数	50人	48人	57人	52人	59人	53人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	50人	48人	57人	52人	59人	53人		
一般選抜	募集人数	83人	83人	78人	78人	78人	80人	
	延べ人数	志願者数	300人	215人	160人	169人	136人	196人
		受験者数	226人	153人	157人	127人	105人	154人
		合格者数	93人	95人	85人	90人	81人	89人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	9人	7人	2人	3人	5人
	実人数	志願者数	300人	215人	160人	169人	136人	196人
		受験者数	226人	153人	157人	127人	105人	154人
		合格者数	93人	95人	85人	90人	81人	89人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		4人	9人	7人	2人	3人	5人	
入学者数	89人	86人	78人	88人	78人	84人		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
合計	募集人数	130人	130人	130人	130人	130人	130人	
	延べ人数	志願者数	419人	340人	294人	278人	260人	318人
		受験者数	345人	278人	291人	235人	229人	276人
		合格者数	143人	143人	142人	142人	140人	142人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	4人	9人	7人	2人	3人	5人
	実人数	志願者数	419人	340人	294人	278人	260人	318人
		受験者数	345人	278人	291人	235人	229人	276人
		合格者数	143人	143人	142人	142人	140人	142人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		4人	9人	7人	2人	3人	5人	
入学者数	139人	134人	135人	140人	137人	137人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	130人	130人	130人	130人	130人	130人
入学定員充足率	1.07	1.03	1.04	1.08	1.05	1.05
歩留	0.97	0.94	0.95	0.99	0.98	0.96

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

無資格者は受験者から除く。
令和2年度の後期日程においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により後期日程の個別学力検査を行っていないため、志願者数から前期日程・学校推薦入試の入学手続者を除いた選考対象者数を受験者数としてで計上している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：高知大学理工学部数学物理学科

別紙2-3

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	18人	18人	18人	18人	18人	18人	
	延べ人数	志願者数	32人	32人	9人	6人	12人	18人
		受験者数	32人	32人	9人	6人	12人	18人
		合格者数	15人	18人	8人	5人	9人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	32人	32人	9人	6人	12人	18人
		受験者数	32人	32人	9人	6人	12人	18人
		合格者数	15人	18人	8人	5人	9人	11人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	15人	18人	8人	5人	9人	11人		
一般選抜	募集人数	36人	36人	36人	36人	36人	36人	
	延べ人数	志願者数	100人	156人	94人	279人	96人	145人
		受験者数	80人	131人	67人	216人	72人	113人
		合格者数	48人	41人	50人	57人	47人	49人
		うち追加合格者数	1人	0人	4人	0人	0人	1人
		辞退者数	8人	4人	6人	5人	1人	5人
	実人数	志願者数	100人	156人	94人	279人	96人	145人
		受験者数	80人	131人	67人	216人	72人	113人
		合格者数	48人	41人	50人	57人	47人	49人
		うち追加合格者数	1人	0人	4人	0人	0人	1人
辞退者数		8人	4人	6人	5人	1人	5人	
入学者数	40人	37人	44人	52人	46人	44人		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数	1人	1人	4人	1人	1人	2人	
	延べ人数	志願者数	4人	6人	10人	0人	1人	4人
		受験者数	4人	5人	10人	0人	1人	4人
		合格者数	2人	2人	5人	0人	1人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	1人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	4人	6人	10人	0人	1人	4人
		受験者数	4人	5人	10人	0人	1人	4人
		合格者数	2人	2人	5人	0人	1人	2人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		1人	1人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	1人	1人	5人	0人	1人	2人		
合計	募集人数	55人	55人	58人	55人	55人	56人	
	延べ人数	志願者数	136人	194人	113人	285人	109人	167人
		受験者数	116人	168人	86人	222人	85人	135人
		合格者数	65人	61人	63人	62人	57人	62人
		うち追加合格者数	1人	0人	4人	0人	0人	1人
		辞退者数	9人	5人	6人	5人	1人	5人
	実人数	志願者数	136人	194人	113人	285人	109人	167人
		受験者数	116人	168人	86人	222人	85人	135人
		合格者数	65人	61人	63人	62人	57人	62人
		うち追加合格者数	1人	0人	4人	0人	0人	1人
辞退者数		9人	5人	6人	5人	1人	5人	
入学者数	56人	56人	57人	57人	56人	56人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	55人	55人	55人	55人	55人	55人
入学定員充足率	1.02	1.02	1.04	1.04	1.02	1.03
歩留率	0.86	0.92	0.90	0.92	0.98	0.92

（備考）特記事項がある場合は記載すること。

その他の特別選抜は、社会人選抜（募集人数：1名）、私費外国人留学生選抜（募集人数：若干名）

令和3年度入学者のその他の特別選抜には、欠員補充第2次募集（募集人数：3名）を含む

令和2年度の後期日程においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により後期日程の個別学力検査を行っていないため、志願者数から前期日程・学校推薦入試の入学手続者を除いた選考対象者数を受験者数として計上している。

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人	
	延べ人数	志願者数	23人	11人	17人	29人	23人	21人
		受験者数	23人	11人	17人	29人	23人	21人
		合格者数	10人	7人	11人	11人	11人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	23人	11人	17人	29人	23人	21人
		受験者数	23人	11人	17人	29人	23人	21人
		合格者数	10人	7人	11人	11人	11人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	10人	7人	11人	11人	11人	10人		
一般選抜	募集人数	19人	19人	19人	19人	19人	19人	
	延べ人数	志願者数	96人	62人	82人	95人	56人	78人
		受験者数	78人	46人	60人	76人	41人	60人
		合格者数	23人	31人	24人	22人	24人	25人
		うち追加合格者数	0人	4人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	2人	8人	4人	0人	2人	3人
	実人数	志願者数	96人	62人	82人	95人	56人	78人
		受験者数	78人	46人	60人	76人	41人	60人
		合格者数	23人	31人	24人	22人	24人	25人
		うち追加合格者数	0人	4人	0人	0人	0人	1人
辞退者数		2人	8人	4人	0人	2人	3人	
入学者数	21人	23人	20人	22人	22人	22人		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	
	延べ人数	志願者数	18人	15人	8人	6人	8人	11人
		受験者数	17人	12人	7人	6人	8人	10人
		合格者数	1人	1人	1人	1人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	18人	15人	8人	6人	8人	11人
		受験者数	17人	12人	7人	6人	8人	10人
		合格者数	1人	1人	1人	1人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		1人	0人	1人	0人	0人	0人	
入学者数	0人	1人	0人	1人	0人	0人		
合計	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人	
	延べ人数	志願者数	137人	88人	107人	130人	87人	110人
		受験者数	118人	69人	84人	111人	72人	91人
		合格者数	34人	39人	36人	34人	35人	36人
		うち追加合格者数	0人	4人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	3人	8人	5人	0人	2人	4人
	実人数	志願者数	137人	88人	107人	130人	87人	110人
		受験者数	118人	69人	84人	111人	72人	91人
		合格者数	34人	39人	36人	34人	35人	36人
		うち追加合格者数	0人	4人	0人	0人	0人	1人
辞退者数		3人	8人	5人	0人	2人	4人	
入学者数	31人	31人	31人	34人	33人	32人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	30人	30人	30人	30人	30人	30人
入学定員充足率	1.03	1.03	1.03	1.13	1.10	1.07
歩留率	0.91	0.79	0.86	1.00	0.94	0.90

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 その他の特別選抜は、社会人選抜（募集人数：1名）、私費外国人留学生選抜（募集人数：若干名）
 令和2年度の後期日程においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により後期日程の個別学力検査を行っていないため、志願者数から前期日程・学校推薦入試の入学手続者を除いた選考対象者数を受験者数としてで計上している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：高知大学理工学部生物科学科

別紙2-5

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人	
	延べ人数	志願者数	23人	22人	22人	20人	15人	20人
		受験者数	23人	22人	22人	20人	15人	20人
		合格者数	12人	12人	12人	12人	11人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	23人	22人	22人	20人	15人	20人
		受験者数	23人	22人	22人	20人	15人	20人
		合格者数	12人	12人	12人	12人	11人	12人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	12人	12人	12人	12人	11人	12人		
一般選抜	募集人数	34人	34人	34人	34人	34人	34人	
	延べ人数	志願者数	99人	124人	82人	164人	89人	112人
		受験者数	84人	97人	57人	128人	66人	86人
		合格者数	40人	40人	38人	39人	39人	39人
		うち追加合格者数	0人	2人	2人	0人	2人	1人
		辞退者数	3人	7人	5人	5人	5人	5人
	実人数	志願者数	99人	124人	82人	164人	89人	112人
		受験者数	84人	97人	57人	128人	66人	86人
		合格者数	40人	40人	38人	39人	39人	39人
		うち追加合格者数	0人	2人	2人	0人	2人	1人
辞退者数		3人	7人	5人	5人	5人	5人	
入学者数	37人	33人	33人	34人	34人	34人		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	
	延べ人数	志願者数	4人	4人	0人	2人	0人	2人
		受験者数	4人	4人	0人	2人	0人	2人
		合格者数	3人	1人	0人	1人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	4人	4人	0人	2人	0人	2人
		受験者数	4人	4人	0人	2人	0人	2人
		合格者数	3人	1人	0人	1人	0人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		1人	0人	0人	1人	0人	0人	
入学者数	2人	1人	0人	0人	0人	1人		
合計	募集人数	45人	45人	45人	45人	45人	45人	
	延べ人数	志願者数	126人	150人	104人	186人	104人	134人
		受験者数	111人	123人	79人	150人	81人	109人
		合格者数	55人	53人	50人	52人	50人	52人
		うち追加合格者数	0人	2人	2人	0人	2人	1人
		辞退者数	4人	7人	5人	6人	5人	5人
	実人数	志願者数	126人	150人	104人	186人	104人	134人
		受験者数	111人	123人	79人	150人	81人	109人
		合格者数	55人	53人	50人	52人	50人	52人
		うち追加合格者数	0人	2人	2人	0人	2人	1人
辞退者数		4人	7人	5人	6人	5人	5人	
入学者数	51人	46人	45人	46人	45人	47人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	45人	45人	45人	45人	45人	45人
入学定員充足率	1.13	1.02	1.00	1.02	1.00	1.04
歩留率	0.93	0.87	0.90	0.88	0.90	0.90

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 その他の特別選抜は、社会人選抜（募集人数：1名）、私費外国人留学生選抜（募集人数：若干名）
 令和2年度の後期日程においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により後期日程の個別学力検査を行っていないため、志願者数から
 前期日程・学校推薦入試の入学手続者を除いた選考対象者数を受験者数としてで計上している。

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	13人	13人	13人	13人	13人	13人	
	延べ人数	志願者数	30人	26人	19人	23人	15人	23人
		受験者数	30人	26人	19人	23人	15人	23人
		合格者数	13人	13人	13人	15人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	30人	26人	19人	23人	15人	23人
		受験者数	30人	26人	19人	23人	15人	23人
		合格者数	13人	13人	13人	15人	11人	13人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	13人	13人	13人	15人	11人	13人		
一般選抜	募集人数	56人	56人	56人	56人	56人	56人	
	延べ人数	志願者数	205人	229人	155人	246人	173人	202人
		受験者数	136人	161人	79人	187人	119人	136人
		合格者数	70人	70人	61人	67人	68人	67人
		うち追加合格者数	0人	3人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	12人	13人	2人	8人	9人	9人
	実人数	志願者数	205人	229人	155人	246人	173人	202人
		受験者数	136人	161人	79人	187人	119人	136人
		合格者数	70人	70人	61人	67人	68人	67人
		うち追加合格者数	0人	3人	0人	0人	0人	1人
辞退者数		12人	13人	2人	8人	9人	9人	
入学者数	58人	57人	59人	59人	59人	58人		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人	
	延べ人数	志願者数	2人	9人	7人	5人	5人	6人
		受験者数	2人	7人	7人	4人	4人	5人
		合格者数	1人	1人	1人	1人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	1人	0人	1人	0人	2人	1人
	実人数	志願者数	2人	9人	7人	5人	5人	6人
		受験者数	2人	7人	7人	4人	4人	5人
		合格者数	1人	1人	1人	1人	2人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		1人	0人	1人	0人	2人	1人	
入学者数	0人	1人	0人	1人	0人	0人		
合計	募集人数	70人	70人	70人	70人	70人	70人	
	延べ人数	志願者数	237人	264人	181人	274人	193人	230人
		受験者数	168人	194人	105人	214人	138人	164人
		合格者数	84人	84人	75人	83人	81人	81人
		うち追加合格者数	0人	3人	0人	0人	0人	1人
		辞退者数	13人	13人	3人	8人	11人	10人
	実人数	志願者数	237人	264人	181人	274人	193人	230人
		受験者数	168人	194人	105人	214人	138人	164人
		合格者数	84人	84人	75人	83人	81人	81人
		うち追加合格者数	0人	3人	0人	0人	0人	1人
辞退者数		13人	13人	3人	8人	11人	10人	
入学者数	71人	71人	72人	75人	70人	72人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	70人	70人	70人	70人	70人	70人
入学定員充足率	1.01	1.01	1.03	1.07	1.00	1.03
歩留	0.85	0.85	0.96	0.90	0.86	0.88

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 その他の特別選抜は、社会人選抜（募集人数：1名）、私費外国人留学生選抜（募集人数：若干名）
 令和2年度の後期日程においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により後期日程の個別学力検査を行っていないため、志願者数から前期日程・学校推薦入試の入学手続者を除いた選考対象者数を受験者数としてで計上している。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	7人	7人	7人	7人	7人	7人	
	延べ人数	志願者数	20人	17人	6人	22人	14人	16人
		受験者数	20人	17人	6人	22人	14人	16人
		合格者数	8人	7人	5人	7人	7人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	20人	17人	6人	22人	14人	16人
		受験者数	20人	17人	6人	22人	14人	16人
		合格者数	8人	7人	5人	7人	7人	7人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	8人	7人	5人	7人	7人	7人	
	学校推薦型選抜	募集人数	8人	8人	8人	8人	8人	8人
延べ人数		志願者数	26人	19人	10人	21人	14人	18人
		受験者数	26人	19人	10人	20人	14人	18人
		合格者数	9人	8人	8人	8人	8人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	26人	19人	10人	21人	14人	18人
		受験者数	26人	19人	10人	20人	14人	18人
		合格者数	9人	8人	8人	8人	8人	8人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		9人	8人	8人	8人	8人	8人	
一般選抜		募集人数	24人	24人	24人	24人	24人	24人
	延べ人数	志願者数	128人	125人	90人	99人	87人	106人
		受験者数	103人	89人	52人	60人	54人	72人
		合格者数	28人	28人	32人	30人	31人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	3人	4人	5人	4人	4人
	実人数	志願者数	128人	125人	90人	99人	87人	106人
		受験者数	103人	89人	52人	60人	54人	72人
		合格者数	28人	28人	32人	30人	31人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	3人	4人	5人	4人	4人
	入学者数	25人	25人	28人	25人	27人	26人	
	共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!
延べ人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
実人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数							#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数	1人	1人	1人	1人	1人	1人
	延べ人数	志願者数	3人	1人	2人	0人	2人	2人
		受験者数	3人	1人	2人	0人	2人	2人
		合格者数	1人	1人	1人	0人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	実人数	志願者数	3人	1人	2人	0人	2人	2人
		受験者数	3人	1人	2人	0人	2人	2人
		合格者数	1人	1人	1人	0人	1人	1人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	1人	0人
	入学者数	1人	1人	1人	0人	0人	1人	
	合計	募集人数	40人	40人	40人	40人	40人	40人
延べ人数		志願者数	177人	162人	108人	142人	117人	141人
		受験者数	152人	126人	70人	102人	84人	107人
		合格者数	46人	44人	46人	45人	47人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	3人	4人	5人	5人	4人
実人数		志願者数	177人	162人	108人	142人	117人	141人
		受験者数	152人	126人	70人	102人	84人	107人
		合格者数	46人	44人	46人	45人	47人	46人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	3人	3人	4人	5人	5人	4人
入学者数		43人	41人	42人	40人	42人	42人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	40人	40人	40人	40人	40人	40人
入学定員充足率	1.08	1.03	1.05	1.00	1.05	1.04
歩留率	0.93	0.93	0.91	0.89	0.89	0.91

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 その他の特別選抜は、社会人選抜（募集人数：1名）、私費外国人留学生選抜（募集人数：若干名）
 令和2年度の後期日程においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により後期日程の個別学力検査を行っていないため、志願者数から前期日程・学校推薦入試の入学手続者を除いた選考対象者数を受験者数として計上している。

既設学科等の入学定員の充足状況（直近5年間）
 大学学部学科等名：高知大学医学部医学科

（大学の学科、短大の専攻課程、高専の学科ごとに作成。大学院は作成不要。）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	30人	30人	30人	30人	30人	30人	
	延べ人数	志願者数	196人	225人	192人	167人	178人	192人
		受験者数	193人	223人	191人	165人	178人	190人
		合格者数	30人	30人	30人	30人	30人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	196人	225人	192人	167人	178人	192人
		受験者数	193人	223人	191人	165人	178人	190人
		合格者数	30人	30人	30人	30人	30人	30人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	30人	30人	30人	30人	30人	30人	
	学校推薦型選抜	募集人数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
延べ人数		志願者数	61人	71人	67人	60人	67人	65人
		受験者数	61人	70人	67人	59人	67人	65人
		合格者数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	61人	71人	67人	60人	67人	65人
		受験者数	61人	70人	67人	59人	67人	65人
		合格者数	20人	20人	20人	20人	20人	20人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		20人	20人	20人	20人	20人	20人	
一般選抜		募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60人
	延べ人数	志願者数	264人	400人	294人	238人	350人	309人
		受験者数	232人	215人	188人	195人	194人	205人
		合格者数	60人	63人	62人	63人	62人	62人
		うち追加合格者数	0人	3人	2人	3人	2人	2人
		辞退者数	0人	3人	2人	3人	2人	2人
	実人数	志願者数	264人	400人	294人	238人	350人	309人
		受験者数	232人	215人	188人	195人	194人	205人
		合格者数	60人	63人	62人	63人	62人	62人
		うち追加合格者数	0人	3人	2人	3人	2人	2人
		辞退者数	0人	3人	2人	3人	2人	2人
	入学者数	60人	60人	60人	60人	60人	60人	
	共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!
延べ人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
実人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数							#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	延べ人数	志願者数	0人	0人	4人	2人	1人	1人
		受験者数	0人	0人	4人	1人	1人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	実人数	志願者数	0人	0人	4人	2人	1人	1人
		受験者数	0人	0人	4人	1人	1人	1人
		合格者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	1人	0人	0人
	入学者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	合計	募集人数	110人	110人	110人	110人	110人	110人
延べ人数		志願者数	521人	696人	557人	467人	596人	567人
		受験者数	486人	508人	450人	420人	440人	461人
		合格者数	110人	113人	112人	114人	112人	112人
		うち追加合格者数	0人	3人	2人	3人	2人	2人
		辞退者数	0人	3人	2人	4人	2人	2人
実人数		志願者数	521人	696人	557人	467人	596人	567人
		受験者数	486人	508人	450人	420人	440人	461人
		合格者数	110人	113人	112人	114人	112人	112人
		うち追加合格者数	0人	3人	2人	3人	2人	2人
		辞退者数	0人	3人	2人	4人	2人	2人
入学者数		110人	110人	110人	110人	110人	110人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	110人	110人	110人	110人	110人	110人
入学定員充足率	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00	1.00
歩留	1.00	0.97	0.98	0.96	0.98	0.98

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
 その他の特別選抜は、私費外国人留学生選抜（募集人数：若干名）
 無資格者は受験者から除く。
 一般選抜の受験者数においては、第一次選抜不合格者を除いている。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数	27人	27人	27人	27人	27人	27人	
	延べ人数	志願者数	71人	91人	102人	89人	62人	83人
		受験者数	71人	91人	102人	89人	62人	83人
		合格者数	27人	29人	29人	29人	29人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	71人	91人	102人	89人	62人	83人
		受験者数	71人	91人	102人	89人	62人	83人
		合格者数	27人	29人	29人	29人	29人	29人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数		0人	0人	0人	0人	0人	0人	
入学者数	27人	29人	29人	29人	29人	29人		
一般選抜	募集人数	33人	33人	33人	33人	33人	33人	
	延べ人数	志願者数	210人	85人	240人	110人	110人	151人
		受験者数	138人	42人	136人	58人	58人	86人
		合格者数	38人	35人	39人	33人	34人	36人
		うち追加合格者数	0人	2人	0人	0人	1人	1人
		辞退者数	4人	4人	7人	1人	3人	4人
	実人数	志願者数	210人	85人	240人	110人	110人	151人
		受験者数	138人	42人	136人	58人	58人	86人
		合格者数	38人	35人	39人	33人	34人	36人
		うち追加合格者数	0人	2人	0人	0人	1人	1人
辞退者数		4人	4人	7人	1人	3人	4人	
入学者数	34人	31人	32人	32人	31人	32人		
共通テスト利用入試	募集人数	0人	0人	0人	0人	0人	0人	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
辞退者数							#DIV/0!	
入学者数						#DIV/0!		
合計	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60人	
	延べ人数	志願者数	281人	176人	342人	199人	172人	234人
		受験者数	209人	133人	238人	147人	120人	169人
		合格者数	65人	64人	68人	62人	63人	64人
		うち追加合格者数	0人	2人	0人	0人	1人	1人
		辞退者数	4人	4人	7人	1人	3人	4人
	実人数	志願者数	281人	176人	342人	199人	172人	234人
		受験者数	209人	133人	238人	147人	120人	169人
		合格者数	65人	64人	68人	62人	63人	64人
		うち追加合格者数	0人	2人	0人	0人	1人	1人
辞退者数		4人	4人	7人	1人	3人	4人	
入学者数	61人	60人	61人	61人	60人	61人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.02	1.00	1.02	1.02	1.00	1.01
歩留率	0.94	0.94	0.90	0.98	0.95	0.94

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
令和2年度の後期日程においては新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により後期日程の個別学力検査を行っていないため、志願者数から前期日程・学校推薦入試の入学者候補者を除いた選考対象者数を受験者数としてで計上している。

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数					15人	15人	
	延べ人数	志願者数					22人	22人
		受験者数					22人	22人
		合格者数					17人	17人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					22人	22人
		受験者数					22人	22人
		合格者数					17人	17人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
入学者数					17人	17人		
学校推薦型選抜	募集人数					20人	20人	
	延べ人数	志願者数					19人	19人
		受験者数					19人	19人
		合格者数					17人	17人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					19人	19人
		受験者数					19人	19人
		合格者数					17人	17人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
入学者数					17人	17人		
一般選抜	募集人数					100人	100人	
	延べ人数	志願者数					371人	371人
		受験者数					219人	219人
		合格者数					122人	122人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					15人	15人
	実人数	志願者数					371人	371人
		受験者数					219人	219人
		合格者数					122人	122人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					15人	15人
入学者数					107人	107人		
共通テスト利用入試	募集人数					0人	0人	
	延べ人数	志願者数					#DIV/0!	#DIV/0!
		受験者数					#DIV/0!	#DIV/0!
		合格者数					#DIV/0!	#DIV/0!
		うち追加合格者数					#DIV/0!	#DIV/0!
		辞退者数					#DIV/0!	#DIV/0!
	実人数	志願者数					#DIV/0!	#DIV/0!
		受験者数					#DIV/0!	#DIV/0!
		合格者数					#DIV/0!	#DIV/0!
		うち追加合格者数					#DIV/0!	#DIV/0!
		辞退者数					#DIV/0!	#DIV/0!
入学者数					#DIV/0!	#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数					0人	0人	
	延べ人数	志願者数					0人	0人
		受験者数					0人	0人
		合格者数					0人	0人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					0人	0人
		受験者数					0人	0人
		合格者数					0人	0人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
入学者数					0人	0人		
合計	募集人数	0人	0人	0人	0人	135人	27人	
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	412人	82人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	260人	52人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	156人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	15人	3人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	412人	82人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	260人	52人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	156人	31人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	15人	3人
入学者数	0人	0人	0人	0人	141人	28人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員					135人	135人
入学定員充足率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	1.04	#DIV/0!
歩留率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.90	#DIV/0!

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
その他の特別選抜は、私費外国人留学生選抜（募集人数：若干名）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数						#DIV/0!		
学校推薦型選抜	募集人数					17人	17人	
	延べ人数	志願者数					33人	33人
		受験者数					33人	33人
		合格者数					17人	17人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					33人	33人
		受験者数					33人	33人
		合格者数					17人	17人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
入学者数					17人	17人		
一般選抜	募集人数					48人	48人	
	延べ人数	志願者数					175人	175人
		受験者数					102人	102人
		合格者数					55人	55人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					5人	5人
	実人数	志願者数					175人	175人
		受験者数					102人	102人
		合格者数					55人	55人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					5人	5人
入学者数					50人	50人		
共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!	
	延べ人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数						#DIV/0!		
その他の特別選抜	募集人数					0人	0人	
	延べ人数	志願者数					0人	0人
		受験者数					0人	0人
		合格者数					0人	0人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
	実人数	志願者数					0人	0人
		受験者数					0人	0人
		合格者数					0人	0人
		うち追加合格者数					0人	0人
		辞退者数					0人	0人
入学者数					0人	0人		
合計	募集人数	0人	0人	0人	0人	65人	13人	
	延べ人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	208人	42人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	135人	27人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	72人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	5人	1人
	実人数	志願者数	0人	0人	0人	0人	208人	42人
		受験者数	0人	0人	0人	0人	135人	27人
		合格者数	0人	0人	0人	0人	72人	14人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	5人	1人
入学者数	0人	0人	0人	0人	67人	13人		

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員					65人	65人
入学定員充足率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	1.03	#DIV/0!
歩留率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	0.93	#DIV/0!

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
その他の特別選抜は、私費外国人留学生選抜（募集人数：若干名）

1. 各選抜方法の状況

		H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均	
総合型選抜	募集人数	15人	15人	15人	15人	15人	15人	
	延べ人数	志願者数	63人	59人	56人	42人	54人	55人
		受験者数	63人	59人	56人	42人	54人	55人
		合格者数	15人	16人	17人	16人	16人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	実人数	志願者数	63人	59人	56人	42人	54人	55人
		受験者数	63人	59人	56人	42人	54人	55人
		合格者数	15人	16人	17人	16人	16人	16人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
	入学者数	15人	16人	17人	16人	16人	16人	
	学校推薦型選抜	募集人数	10人	10人	10人	10人	10人	10人
		延べ人数	志願者数	28人	18人	22人	22人	25人
受験者数			28人	18人	22人	21人	25人	23人
合格者数			10人	11人	10人	10人	11人	10人
うち追加合格者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
辞退者数			0人	0人	0人	0人	0人	0人
実人数		志願者数	28人	18人	22人	22人	25人	23人
		受験者数	28人	18人	22人	21人	25人	23人
		合格者数	10人	11人	10人	10人	11人	10人
		うち追加合格者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
		辞退者数	0人	0人	0人	0人	0人	0人
入学者数		10人	11人	10人	10人	11人	10人	
一般選抜		募集人数	35人	35人	35人	35人	35人	35人
		延べ人数	志願者数	98人	127人	107人	92人	54人
	受験者数		89人	117人	97人	82人	44人	86人
	合格者数		44人	44人	38人	37人	41人	41人
	うち追加合格者数		0人	0人	1人	0人	0人	0人
	辞退者数		7人	2人	5人	4人	3人	4人
	実人数	志願者数	98人	127人	107人	92人	54人	96人
		受験者数	89人	117人	97人	82人	44人	86人
		合格者数	44人	44人	38人	37人	41人	41人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	2人	5人	4人	3人	4人
	入学者数	37人	42人	33人	33人	38人	37人	
	共通テスト利用入試	募集人数						#DIV/0!
		延べ人数	志願者数					
受験者数								#DIV/0!
合格者数								#DIV/0!
うち追加合格者数								#DIV/0!
辞退者数								#DIV/0!
実人数		志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
入学者数							#DIV/0!	
その他の特別選抜		募集人数						#DIV/0!
		延べ人数	志願者数					
	受験者数							#DIV/0!
	合格者数							#DIV/0!
	うち追加合格者数							#DIV/0!
	辞退者数							#DIV/0!
	実人数	志願者数						#DIV/0!
		受験者数						#DIV/0!
		合格者数						#DIV/0!
		うち追加合格者数						#DIV/0!
		辞退者数						#DIV/0!
	入学者数						#DIV/0!	
	合計	募集人数	60人	60人	60人	60人	60人	60人
		延べ人数	志願者数	189人	204人	185人	156人	133人
受験者数			180人	194人	175人	145人	123人	163人
合格者数			69人	71人	65人	63人	68人	67人
うち追加合格者数			0人	0人	1人	0人	0人	0人
辞退者数			7人	2人	5人	4人	3人	4人
実人数		志願者数	189人	204人	185人	156人	133人	173人
		受験者数	180人	194人	175人	145人	123人	163人
		合格者数	69人	71人	65人	63人	68人	67人
		うち追加合格者数	0人	0人	1人	0人	0人	0人
		辞退者数	7人	2人	5人	4人	3人	4人
入学者数		62人	69人	60人	59人	65人	63人	

3. 入学定員充足率

	H31年度入学者	R2年度入学者	R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	平均
入学定員	60人	60人	60人	60人	60人	60人
入学定員充足率	1.03	1.15	1.00	0.98	1.08	1.05
歩留率	0.90	0.97	0.92	0.94	0.96	0.94

（備考）特記事項がある場合は記載すること。
令和4年度入試一般選抜欠席者2名に対し実施した追試験については、上の表には含んでいない。（1名が欠席、1名は合格して入学手続きをした。）

既設学科等の学生募集のためのPR活動の過去の実績

①募集を行った学科等名称及び取組の名称：高知大学農林海洋科学部のオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	138人	268人	①取組概要 例年8月に実施しており、農林海洋科学部を第1志望とする者の人数である。R4はコロナ禍であったため、3年生中心であったが、アフターコロナのR5では、2年生以下の出席者も増えた。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 参加者の55%程度が受験対象者で、その半数が受験、3～4割が入学であることから、コロナ前の350人を目標とすれば、100人程度の受験、80人程度の入学につなげることができる。
うち受験対象者数(b)	120人	146人	
うち受験者数(c)	59人	82人	
うち入学者数(d)	41人	59人	
(受験率 c/b)	49.2%	56.2%	
(入学率 d/b)	34.2%	40.4%	

②募集を行った学科等名称及び取組の名称：高知大学農林海洋科学部のオンラインオープンキャンパス

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	111人	53人	①取組概要 8月に実施しているオープンキャンパスに参加できなかった者などを対象に、オープンキャンパス当日の動画の配信の他、オンラインによる教員との意見交換等を実施している。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 オープンキャンパスよりも受験対象者が多く、オープンキャンパス同様に約半数が受験へとつながり、3割程度が入学している実績がある。
うち受験対象者数(b)	45人	34人	
うち受験者数(c)	24人	16人	
うち入学者数(d)	15人	11人	
(受験率 c/b)	53.3%	47.1%	
(入学率 d/b)	33.3%	32.4%	

③募集を行った学科等名称及び取組の名称：高知大学農林海洋科学部の出願直前説明会・相談会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	28人	16人	①取組概要 「大学入学共通テスト」の結果を受け、志願校を決定する時期に農林海洋科学部への志願を志向する生徒に対して、「出願直前説明会・相談会」を実施している。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 本学への志願を考えている段階において、相談会として実施することから、90%近くが受験につながっており、3～4割が入学している実績がある。
うち受験対象者数(b)	24人	9人	
うち受験者数(c)	21人	8人	
うち入学者数(d)	9人	4人	
(受験率 c/b)	87.5%	88.9%	
(入学率 d/b)	37.5%	44.4%	

④募集を行った学科等名称及び取組の名称：高知大学農林海洋科学部の総合型選抜Ⅰ説明会

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)	17人	17人	①取組概要 令和6年度入学生からは「総合型選抜 説明会」を、募集開始後出願までの間に実施している。 ②過去の取組実績を踏まえた新設組織の入学者数の見込みに関する分析 1年度分の実績ではあるものの、9割受験、8割弱の入学となっている。今回の定員増では、地域志向枠を設け「総合型」も拡充することから、参加者「40人」を目標に設定し、35人以上の受験につなげ、変更後の募集人員25人の入学者を獲得する。
うち受験対象者数(b)	14人	14人	
うち受験者数(c)	13人	13人	
うち入学者数(d)	11人	11人	
(受験率 c/b)	92.9%	92.9%	
(入学率 d/b)	78.6%	78.6%	

⑤募集を行った学科等名称及び取組の名称：

	R4年度入試	R5年度入試	取組概要と入学者数等に関する分析
参加者等総数(a)			
うち受験対象者数(b)			
うち受験者数(c)			
うち入学者数(d)			
(受験率 c/b)			
(入学率 d/b)			